

国 語		東書（東京書籍株式会社）
総 評		「つかむ」「取り組む」「振り返る」という学習構成で、児童がこれまでの学習を生かして効果的に学習をすることができるような工夫があり、「主体的・対話的で深い学び」が実現できる。 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を活発に展開し、語彙と情報の扱い方を重視しながら言葉の力を着実に身に付けられるようにしている。 「豊かな学びが未来を拓く」旨のメッセージが込められており、児童が興味をもって学習を進められる。 文字が小さくて読みづらいページがある。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 裏表紙の「保護者の皆様へ」において、「豊かな学びが未来を拓く」旨のメッセージが込められている。② ○ 「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう、児童が話し合っている例を提示している。③
	2 内容の取扱い	○ 「言葉の力」を取り入れ、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を活発に展開できるようにしている。① ○ 語彙と情報の扱い方を重視し、言葉の力を着実に身に付けられるようにしている。⑤ ○ 教材を学習した後に、読書へといざなうような発展的な本がたくさん紹介されていたり、「本は友達」などがあったりして読書に親しむよう工夫されている。⑥ ○ 具体的な話し合いの例、発表例などがたくさん取り入れられているので児童が言語活動に取り組みやすい。⑦
	3 外的要素	○ 製本がしっかりしていて、装丁も児童に親しみやすいイラストを取り入れている。① ○ 挿絵や写真が鮮明であり、色づかいが目にやさしいものである。③ ○ カラーバリアフリーを取り入れてユニバーサルデザインに配慮している。④
	4 構成・配列	○ 前学年で学んだ「言葉の力」が収録されているので、これまでの学習を生かした効果的な学習をすることができる。① ○ 「つかむ」「取り組む」「振り返る」という構成で学習するようになっており、言葉の力を着実に付けられるようになっている。②
	5 資料・その他	○ 児童が興味をもって学習を進めるような資料が多く取り入れられている。① ○ 巻末の漢字の資料を漢字辞典として活用できる。② ○ QRコードにより、漢字の練習や映像資料、読み上げの資料が活用できる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ インターネット等を活用した調べ学習の例が少ない。③
	2 内容の取扱い	○ 児童になじみのない言葉が説明文に出てきているものは、理解が難しい。
	3 外的要素	○ 5・6年生は分冊されていないので、重くかさばり、使いにくい。① ○ 文字が小さくて読みづらいページがある。②
	4 構成・配列	○ 構成の順が現行のものと変更されているので、学習したことを生かしにくい。②
	5 資料・その他	○ 説明文に児童にとって身近でない題材がある。②

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第2地区）

国 語		学図（学校図書株式会社）
総 評		様々な教材を通して、よりよく生きていくために考える態度を育てられるように配慮されている。 学習の進め方がわかりやすく、巻頭に見通しをもち主体的に取り組むことができるような工夫がされている。 教材の配列につながりが薄く、身に付けた力を次に生かしにくい。 教材によっては文字の大きさが小さく、新出漢字が見にくいところがある。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 様々な教材を通して、よりよく生きていくために考える態度を育てられるように配慮されている。② ○ 3年生以上の上巻の巻頭には、1年間でつけたい力や、そのために必要な学習について書いてあるので、見通しをもち主体的に取り組むことができるようになっている。③
	2 内容の取扱い	○ 言葉による見方・考え方を育てるための工夫がされている。① ○ 友だちとの対話を通して、考えをより深められるように、共に学ぶことを重視している。③ ○ 多様な学習活動ができるように、物語文や説明文、言葉のきまりなど以外にも、言語能力の育成を図る教材が随所に取り入れられている。⑦
	3 外的要素	○ 製本は丈夫。① ○ 写真は鮮明でとても見やすい。③ ○ 色づかいを控えめにし、大切な部分だけを強調していることで、読みやすくなっている。④
	4 構成・配列	○ 学習のてびきが見開きで提示されているので、学習の進め方がわかりやすい。① ○ 学習の振り返りや、次に活用することができるように配慮されている。②
	5 資料・その他	○ 巻末に、資料編として、授業で使う言葉や国語のカギとなる事柄をまとめて取り上げている。① ○ 資料は児童が興味をもって取り組めるものを載せている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ タブレットを活用した授業をする上で、QRコードの活用がしにくい。③
	2 内容の取扱い	○ 新出漢字が見にくいところがある。⑤
	3 外的要素	○ 教材によっては文字の大きさが小さいものがあり、読みにくい。（学習のてびきも小さい。）② ○ ページ数が少ないためか、さし絵が少ないため指導するには配慮を要する。③
	4 構成・配列	○ 教材の配列につながりが薄く、身に付けた力を次に生かしにくい。②
	5 資料・その他	○ 巻末資料「新しく習った漢字」に掲載されている情報が少ないところがある。① ○ 巻末資料「言葉」などが児童の興味を引きづらい。②

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第2地区）

国 語		教出（教育出版株式会社）
総 評		手引きの部分に、予想される児童の発言が書かれている等、主体的・対話的に学ぶうえで、児童がどのように学ばよいのかが分かりやすい工夫がある。 学習の進め方が端的に示されており、見通しを持って学習を進められるとともに、学びを日常生活でいかすことにもつなげられている。 児童が課題に取り組むうえで内容が難しいものがある。 振り返りは示されているが、振り返るための手立てに具体性が少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 手引きの部分に、予想される児童の発言が書かれている等、主体的・対話的に学ぶうえで、児童がどのように学ばよいのかが分かりやすい工夫がある。③
	2 内容の取扱い	○ 「読むこと」の単位では、新学習指導要領に則り「確かめよう」－「考えよう」－「深めよう」－「広げよう」の流れで、学習課題と学習過程を示しており、児童が見通しを持って学習を進められるとともに、学びを日常生活でいかすことにもつなげられている。② ○ 新出漢字の筆順が教科書の下部に書かれており、分かりやすい。⑤ ○ 「言葉の木」・「言葉のまとめ」を活用することで、児童が豊富な語彙を学ぶことができる。⑤
	3 外的要素	○ 表紙の絵が児童の興味関心を引きやすいものになっている。発達段階に応じた絵になっている。① ○ 文字の大きさや行間は適切である。② ○ 「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の学習では、カラーユニバーサルデザインを取り入れ、多くの児童が学びやすいよう配慮している。④
	4 構成・配列	○ 学習の進め方が端的に示されており、児童が学びを進めるうえで手助けとなる。②
	5 資料・その他	○ まなびリンクが必要に応じて配置され、作品例や思考するための表、作者や筆者の情報が入手できるようになっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 国際化が進む社会で生きていく児童が、世界に目を向けるような教材が少ない。②
	2 内容の取扱い	○ 振り返りは示されているが、振り返るための手立てに具体性が少ない。⑦
	3 外的要素	○ 文字が細いところがある。② ○ 挿絵が暗いものがある。③
	4 構成・配列	○ 児童が課題に取り組むうえで内容が難しいものがある。①
	5 資料・その他	○ 新学習指導要領に対応した資料が少ない。②

国 語		光村（光村図書出版株式会社）
総 評		学習課題に焦点化された教材が配置され、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした場面設定をするなど教材に工夫がみられる。 習得・活用・探究を繰り返し、着実に確かな学力が身に付けられるようになっている。 メディア・リテラシー等、日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことができる力を育成できる。 内容が難しく、児童の実態にあっていないものもあり、挿絵の配置やページ組みが物語の場面を理解しにくいものになっているため、低学年では指導の際配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、単元や教材の学習に臨む際、全体を見通す、振り返るなどの場面を設定したり、対話したり、深く考える場面を設定したりするなど教材の工夫がみられる。③ ○ 習得・活用・探究を繰り返し、着実に確かな学力が身に付けられるようになっている。④
	2 内容の取扱い	○ 「読むこと」の学習では、新学習指導要領に則り「とらえよう」－「ふかめよう」－「まとめよう」－「ひろげよう」と学習の展開が明示されており、児童が見通しをもった学習ができる。① ○ web、新聞を活用した教材が多数掲載されており、メディア・リテラシー等、日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことができる力を育成できる。② ○ 付録の「学習を広げよう」が学習の仕方の参考に、また「言葉の宝箱」で学習用語を身に付けられる等、児童が言語感覚を養うための工夫がある。④ ○ 「考えるときに使おう」「関係をとらえよう」等、情報の取り扱い方の学習が充実している。⑦
	3 外的要素	○ 5・6年生は分冊されていないので学習を見通すことができる。① ○ 低学年は文字が大きく太字、高学年は行間に配慮し見やすい文字になっている。② ○ ユニバーサルデザインに配慮し、色や形や表、書体等が見やすいように監修されている。④
	4 構成・配列	○ 本教材の前に、短く学習課題に焦点化された教材が配置されている等、学習したことを活用できるように工夫されている。① ○ 各教材の最後に学習の進め方が示され、学習内容が確実に習得できるよう配慮されている。②
	5 資料・その他	○ 教材によってはQRコードが付いており、学習の支援がされており、教室だけでなく家庭でも自主的に学習できるよう配慮されている。動画の資料が豊富に掲載されている。① ○ 写真や挿絵の資料だけでなく、表やマッピング等の知識を整理するための資料も豊富に掲載されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 思考力・判断力・表現力を育成できるように配慮されているが、内容が難しく、児童の実態にあっていないものもある。④
	2 内容の取扱い	○ 全体的に文字の量が多いため、児童が読むことを敬遠する可能性がある。③
	3 外的要素	○ 5・6年生は分冊されていないので、重くかさばり、使いにくい。①
	4 構成・配列	○ 挿絵の配置やページ組みが物語の場面を理解しにくいものになっているため、低学年では指導の際配慮を要する。③
	5 資料・その他	○ 説明文等に写真の掲載が少ないため児童の興味関心を得にくい。②

書 写		東書（東京書籍株式会社）
総 評		対話を通して、学習の振り返りができるように配慮されている。 書写で学習したことを他教科、生活に生かしていくためのコラムが工夫されている。 教科書のサイズがやや大きく低学年では指導に配慮がいる。 1時間の基本的な学習の進め方が大まかで、指導の際に配慮がいる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 対話を通して、学習の振り返りができるように配慮されている。③
	2 内容の取扱い	○ これまでに学習した点画の復習ができるように、復習のページを載せている。穂先の通る位置を図式化して、見てわかるように工夫させている6年P.8 P.9③ ○ 毛筆を使用して、始筆、送筆、終筆に気を付けて書くことができるよう、配慮されている。3年P.12 P.13⑤ ○ 穂先の向きがいつも意識できるように記されており、とらえ易い。⑤ ○ 鉛筆の持ち方の手順が書かれており、わかりやすい。① ○ 点画の交わりが色を変えて書かれているので、文字の組み立てや文字の形がとらえやすい。②
	3 外的要素	○ 他社はB5サイズであるが、横の長さが2.5センチ大きい。その分、絵や文字が大きく掲載している。① ○ 幅が他社より大きいので、絵や写真が大きく見やすい。② ○ 落ち着いた色遣いで統一されているので、気が散りにくく、どんな児童にとっても、読みやすい。③④
	4 構成・配列	○ 書写で学習したことを他教科、生活に生かしていくことのできる、コラムが設定されている。6年P.24 P.25 P.36 P.37② ○ 各学年で身についた内容が「書写のかぎ」としてまとめられており、容易に振り返ることができる。①
	5 資料・その他	○ インターネットを活用した学習の資料があり、児童の興味関心を引き出すことができる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 特になし。
	3 外的要素	○ 教科書のサイズが大きく、机上では扱いにくい。①
	4 構成・配列	○ 1時間の基本的な学習の進め方が大まかで、活動が具体性に欠ける。6年P.3①
	5 資料・その他	○ 特になし。

書 写		学図（学校図書株式会社）
総 評		主体的・対話的で深い学びに導くための手立てとして、お手本と自分の書いた字を比較することで、対話的な話し合いを行うことができる。 友だちと話し合う活動を活性化することができる話し合いのポイントを示している。 書写に関する不思議を解決することができる資料があり、児童の関心意欲の向上につながる。 筆の片付けにおいて、瓶を使って洗うと記されているが、学年によっては指導に配慮がいる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的で深い学びに導くための手立てとして、お手本と自分の書いた字を比較することで、対話的な話し合いを行うことができる。また、友だちと話し合う活動を活性化することができる話し合いのポイントを示している。③
	2 内容の取扱い	○ 鉛筆を持った時に、「鉛筆の先が見えるか」を確かめる部分があり、わかりやすい。① ○ いろいろな筆記具について紹介されている。⑦ ○ 毛筆で学習したことを生かして、同じねらいをもった別の文字を硬筆で練習するようになっている。
	3 外的要素	○ キャラクターを設定して、各ページのポイントとなる点を、キャラクターとの対話形式で進めるように工夫している。6年 P.10 P.11① ○ 青と白の色遣いが落ち着いているため、見やすい。③
	4 構成・配列	○ 学んだことを学校や普段の生活の中で生かす工夫がみられる。6年 P.13②
	5 資料・その他	○ 書写に関する不思議を解決することができる資料があり、児童の関心意欲の向上につながる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的に自学自習するためには、学習の流れ等わかりにくい。③
	2 内容の取扱い	○ 筆の片付けにおいて、瓶を使って洗うと記されているが、危険なので使いにくい。⑦ ○ 水書用紙が付いていない。1年
	3 外的要素	○ 表紙のイラストが教科書にしては、軽すぎる。① ○ 多数のキャラクターが出てきており、学習に集中しづらい。④
	4 構成・配列	○ 学習の関連性が明らかにされていない。目次①
	5 資料・その他	○ 特になし

書 写		教出（教育出版株式会社）
総 評		主体的に話合いができるようにめあてや学習方法を詳しく載せている。 筆の持ち方では、写真に説明書きを詳しく書いてあり、鉛筆の持ち方との違いも筆と鉛筆の２枚の絵で比べ詳しく説明している。 文字のサイズが小さくて見づらい。 中学年の漢字や仮名の配列についてやや配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的に話合いができるようにめあてや学習方法を詳しく載せている。③
	2 内容の取扱い	○ 筆の持ち方では、写真に説明書きを他社より詳しく書いている。また、鉛筆の持ち方との違いを筆と鉛筆の２枚の絵で比べさらにその説明を詳しく説明している。6年P.7① ○ 鉛筆の持ち方について「合言葉」があるので、わかりやすい。① ○ 低学年から、毛筆で書くということを意識できるような運筆の仕方を記載している。⑤
	3 外的要素	○ 学習内容や学習の流れが見開きで示されているため、わかりやすい。④
	4 構成・配列	○ 表紙がシンプル、かつ、子どもにとって親しみやすいものになっている。① ○ 硬筆の学習が毛筆の学習にどのように生かされているのかが目次から分かる。① ○ 他教科や生活にも学習したことを広げていくことができるように、コラムが配置されている。②
	5 資料・その他	○ 筆の穂の材質の紹介のページがあり、子どもの興味関心を引き出すことができる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 特になし。
	3 外的要素	○ 文字のサイズが小さくて見づらい。②
	4 構成・配列	○ 中学年の漢字や仮名の配列についてやや配慮を要する。
	5 資料・その他	○ 特になし。

書 写		光村（光村図書出版株式会社）
総 評		点画の書き方について、比較しながら学習を進める展開になっているので、主体的に学習を行うことができる。 筆の持ち方を写真とそれを詳しく解説する文を載せている。 点画の書き方について、一つ一つ学習するようになっているので、字形をしっかりと身につけることができる。 鉛筆の持ち方が巻頭と巻末に分かれて書かれているので指導に配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 点画の書き方について、比較しながら学習を進める展開になっているので、主体的に学習を行うことができる。③
	2 内容の取扱い	○ 筆の持ち方を写真とそれを詳しく解説する文（「書くときのポイント」）を載せている。⑤ ○ 鉛筆の持ち方について、わかりやすく書かれている。① ○ 点画の書き方について、一つ一つ学習するようになっているので、字形をしっかりと身につけることができる。②
	3 外的要素	○ 1ページの文字の量が多すぎず、読みやすい。② ○ 落ち着いた色遣いで構成されているので、どんな児童でも読みやすい。③④ ○ 文字の大きさやフォントが児童の視点に立ったものになっている。②
	4 構成・配列	○ 学習した内容を日々の学習やノートで生かすことができるようなページが設けられている。P.42② ○ 学習の振り返りができるように「たいせつ」のまとめとしてまとめられている。③
	5 資料・その他	○ 国語科の資料との関連が明らかになっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 鉛筆の持ち方が巻頭と巻末に分かれて書かれているので指導に配慮を要する。①
	3 外的要素	○ 特になし。
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 「ななめほさきちゃん」というキャラクターにより、集中が妨げられる。①

書 写		日 文（日本文教出版株式会社）
総 評		対話を通して学習を進めるように構成されているので、児童も主体的に、かつ、安心して学ぶことができる。 筆使いや穂先の向きを明らかにした表記は児童の理解につながる。 「毛筆用具の置き方と準備」についての記述において、赤鉛筆が掲載されているが、授業では赤ペンなどを用いるほうが良い。 色が多く、児童によっては集中しづらい。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 対話を通して学習を進めるように構成されているので、児童も主体的に、かつ、安心して学ぶことができる。③
	2 内容の取扱い	○ 筆記用具の持ち方では、筆、小筆、鉛筆、フェルトペンの4つの持ち方を比べて載せている。6年P.4① ○ 筆使いや穂先の向きを明らかにした表記は児童の理解につながる。⑤
	3 外的要素	○ 書くことにおける大切なポイントを黄色に黒字で目立つよう工夫されている。③ ○ 水書シートが他社に比べて厚く、破れにくい。①
	4 構成・配列	○ 1, 2 ページ目に書写学習の進め方が簡単に書かれてある。折込であり振り返ってくり返し見やすい。② ○ めあて、考える、たしかめる、いかす、ふりかえるという5つのステップで学習が進められていることがわかりやすい。② ○ 学習の進め方が、個人、グループと段階的に設定されているため、自分の課題やめあての達成度をふり返りやすい。②
	5 資料・その他	○ 原稿用紙の使い方が丁寧に扱われている。4年P.46①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 「毛筆用具の置き方と準備」のページに、赤鉛筆が掲載されているが、実際には赤ペンなどを用いるほうが良い。⑦
	3 外的要素	○ 文字量、写真や絵の情報量が多い。② ○ 色が多く、児童によっては集中しづらい。③④
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 特になし。

令和2年度使用教科用図書社会答申資料（第2地区）

社会		東書（東京書籍株式会社）
総 評		「いかす」では、既習内容をもとに自分たちの身の周りの問題について考えたり話し合ったりすることや、社会に関心をもつきっかけとなる提案がされており、よりよい社会を児童が主体的に考えられるように配慮されている。 「まとめる」では、様々な立場の人になりきってその視点で社会的事象を説明したり、キャッチコピーを考えたりと、多角的な思考や幅広い表現方法に挑戦できるように配慮されている。 多くのページに働かせるべき「見方・考え方」を示しており、現地の方へのインタビューなどを通して課題追究し解決へ導けるよう配慮されている。 写真資料が少なく、イラストが多すぎる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「いかす」では、既習内容をもとに自分たちの身の周りの問題について考えたり話し合ったりすることや、社会に関心をもつきっかけとなる提案がされており、よりよい社会を児童が考えられるように配慮されている。①② ○ 「まとめる」では、様々な立場の人になりきってその視点で社会的事象を説明したり、キャッチコピーを考えたりと、多角的な思考や幅広い表現方法に挑戦できるように配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 多くのページに働かせるべき「見方・考え方」を示しており、課題追究したり解決したりすることについて配慮されている。① ○ 要所に「学び方コーナー」があり、「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の観点で学びを手助けする工夫がされている。② ○ 国際編での現地の方へのインタビューが最も多く、現地の方の言葉で様子を知り、自分たちのくらしのようすとの違いや共通点について考えを深められるように配慮されている。③ ○ 各ページに「つかむ」「調べる」「まとめる」の記載があり、児童も指導者も学習の流れやどのようなことを学習すればよいかがつかみやすいよう工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ 5、6年生は上下巻2冊に分かれており、持ち運びがしやすくなっている。① ○ 6年生では本文中にある「ことば」に取り上げる言葉をゴシック体の太字にし、ポイントを捉えやすいように配慮されている。② ○ 3年生の「市のようす」では、単元を通して資料の配置を統一しており、児童が前時での学習と関連づけて学習することがしやすき工夫されている。③
	4 構成・配列	○ 発展ページとして「ひろげる」「いかす」があり、総合的な学習の時間などとの横断的な学習がしやすいよう工夫されている。① ○ 「まとめる」項では「まとめの活動にことば（キーワード）を生かそう」という記載があり、重要語句を活用して自分の言葉で話し合ったり書いたりしてまとめていくことができるよう工夫されている。②
	5 資料・その他	○ 6年生の「歴史編」では、年表資料数が多く、学習する時代のできごとを時系列に沿って学習できるように工夫されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 6年生「政治・国際編」のP24～31の単元のみ、「調べる」の記載の下に問いではなく活動内容が書かれており、統一感に欠ける。③
	2 内容の取扱い	○ 6年生の「歴史編」P128～141に「見方・考え方」のマークが無い。①
	3 外的要素	○ どの「見方・考え方」を使う場面かイラストからイメージしにくい。④
	4 構成・配列	○ イラストが豊富だが、中には写真資料の方が適切なものもある。
	5 資料・その他	○ 発達段階に応じて資料が精選されているため、3、4年生のコラム等資料が少ない。

令和2年度使用教科用図書社会答申資料（第2地区）

社会		教出（教育出版株式会社）
総 評		本文の中に資料が配置されており、資料を確認しながら文章を読んでいたり、文章を読み進めると自然に資料の読み取りを行うことができた構成になっており、資料の読み取りを重視している。 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」に分け、それぞれのページにどの段階かが示されており、単元全体を見通しながら学習をすすめることができるようになっている。 社会的な見方・考え方については、6つ（「時期や変化」「場所や広がり」「比べる」「くふうや関わり」「関連付ける」「総合する」）を取り上げているが、紙面では、キャラクターがセリフを吹き出しで述べているのみで、どの見方・考え方を働かせればよいのかがわかりにくくなっている。 資料の配置場所に統一性がないため、どこから読めばいいのか、分かりにくくなっている。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 本文の中に資料が配置されており、資料を確認しながら文章を読んでいくことができるようになっているため、資料の読取を重視しているといえる。④
	2 内容の取扱い	○ 単元全体を、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」に分け、それぞれのページにどの段階かが示されており、単元全体を見通しながら学習をすすめることができるようになっている。⑥ ○ 資料が豊富にバランスよく記載されており、文章を読み進めていくと自然に資料の読み取りを行う構成になっている。② ○ 資料に触れながら、教科書の本文を読み進めるようなレイアウトになっている。⑤
	3 外的要素	○ キーワードは、太文字で記載されており、分かりやすくなっているため、重要な語句を意識させやすくなっている。②
	4 構成・配列	○ 毎時間、「問い」と「次につなげよう」が記載されていることで、学びに連続性をもたせられるような構成になっている。② ○ 3年生では、「店ではたらく人と仕事」の後に、「工場ではたらく人と仕事」または「農家の仕事」を学習する流れとなっており、子どもたちが身近に触れているものから学習に取り組んでいくという単元の流れになっているため、普段の生活の中で学習したことを活かして学びを進めていくことができる構成・配列になっているといえる。②
	5 資料・その他	○ 写真、グラフ、文書、地図などの資料が偏りなく充実して記載されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 毎時間、「問い」と「次につなげよう」が記載されていることは、授業構成が固定化される点で指導の際には配慮を要する。 ○ 文章と資料の配置に統一性がないために、文章記述の部分が読みにくくなっている部分がある。③
	2 内容の取扱い	○ 社会的な見方・考え方については、6つ（「時期や変化」「場所や広がり」「比べる」「くふうや関わり」「関連付ける」「総合する」）を取り上げているが、紙面では、キャラクターがセリフを吹き出しで述べているのみで、どの見方・考え方を働かせればよいのかがわかりにくくなっている。①
	3 外的要素	○ 高学年の教科書の重量が重く、児童の負担が大きい。 ○ 丸みを帯びた字体になっており、他教科に比べて違いがあるため、児童が読む際にやや配慮を要する。②
	4 構成・配列	○ 資料の配置場所に統一性がないため、どこから読めばいいのか、分かりにくくなっている。②
	5 資料・その他	○ 「まなびリンク」について、何について検索することができるのかが記載から分かりにくく、活用しにくい。①

令和２年度使用教科用図書社会答申資料（第２地区）

社会		日文（日本文教出版株式会社）
総 評		巻頭に社会科学学習では、何を学ぶかが記載され、学習カードの例や書き方、各単元の学習計画、どんな見方・考え方を働かせるのかが示されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた配慮がされている。 単元の終末に、話合いの着眼点がキャラクターの話し合っているイラストの吹き出しで示されたり、ノートのまとめ方をノート例で示したりして、論理的思考力・判断力・表現力等を育成する際の参考となるように配慮されている。 写真資料が大きく掲載されているが、その分、他の資料の掲示するスペースが少なくなっている。 学習問題が示されているが、それについてどう考えるかの記述が少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭に社会科学学習では、何を学ぶかが、記載されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた配慮がされている。② ○ 単元の終末に、話合いの着眼点がキャラクターの話し合っているイラストの吹き出しで示されたり、ノートのまとめ方をノート例で示したりして、論理的思考力・判断力・表現力等を育成する際の参考となるように配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 社会科の学習の仕方が示され、「話し合う」が記載されている。③ ○ 話合いで予想される意見、調べたことがわかる意見がキャラクターの吹き出しで囲まれており、見やすい。③ ○ 学習カードの例や書き方が記載されている。② ○ 各単元に学習計画がわかりやすく記載されている。① ○ どんな見方・考え方を働かせるのかが、各単元に示されており、学習のポイントがわかりやすい。① ○ 要所に「学び方・調べ方コーナー」があり、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点で学びを手助けする工夫がされている。②⑤ ○ キャラクターの吹き出しにより、子どもの思考の流れがとらえやすく、問題解決的な学習が展開しやすい工夫がされている。⑥
	3 外的要素	○ 写真資料が大きく見やすい。③ ○ さし絵がたくさん使用されており、特にキャラクターの表情に合わせた「？」「！」などがついており、疑問や気づきを表すなど細かい点まで工夫されている。③ ○ グラフ、地図に色の工夫や斜線やドットなどが使用されており、ユニバーサルデザインの観点で工夫がされている。⑥
	4 構成・配列	○ 写真や資料のレイアウトは、資料と本文との関係が見やすいように配置されている。① ○ 単元の終末のまとめるページでは、単元の学習内容や学習問題の答えを話し合う活動がしめされており、対話を通して振り返ることができるように工夫されている。②
	5 資料・その他	○ ６年生の学習でも地図資料が７３点と多く、特に歴史では６０点も掲載されているため、位置や空間的な見方・考え方が大切にされている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習の進め方が明示されていないところがあり、指導者が工夫して指導する必要がある。③
	2 内容の取扱い	○ 学習問題が示されているが、それについてどう考えるかの記述が少ない。⑥
	3 外的要素	○ 文字の大きさがやや小さいところがある。②
	4 構成・配列	○ 写真資料が大きく掲載されているが、その分、他の資料の掲示するスペースが少なくなっている。①
	5 資料・その他	○ 地図資料が多いが、３年生では、子どもが読み取る際に難しい資料もある。②

地 図		東書（東京書籍株式会社）
総 評		地図帳の使い方では、記号や方位、縮尺、索引が扱われており、基本的な内容を詳細に記載している。 さし絵や写真が鮮明で色使いが配慮され、地図上に写真資料を添付せずに、境界線をつけて表示するなど、地図の情報を児童が視覚的にとらえやすい構成となっている。 日本と世界のつながりに関して、歴史的なものに重点が置かれており、現代の状況についての指導に配慮を要する。 地球規模の環境問題に関わる資料の取り扱いについて、工夫を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力の向上にむけて、地図の活用について基本的な内容を詳細に記載している。② ○ 全ページカラー刷りで地図の情報を児童が視覚的にとらえやすい構成となっている。④ ○ 世界の国々の文化について記載があり児童の興味を引きやすい。⑤
	2 内容の取扱い	○ 地図の成り立ちを、絵図を用い説明している。地図帳の使い方では、記号や方位、縮尺、索引が扱われている。① ○ 日本の気候や自然、水産業、農業、工業の分布が扱われている。「日本とそのまわり」では沖ノ鳥島が沈まないように工事されていることや、択捉島をロシアが占拠していることを記載している。④ ○ 外国語活動、道徳、家庭科、国語科、音楽科、算数科、理科でも活用できるように工夫されている。⑦
	3 外的要素	○ さし絵や写真が鮮明で色使いが配慮され、大きさも適切である。地図上に写真資料を添付せずに、境界線をつけて表示するようにしている。③ ○ 反射を抑えた印刷で障がいその他特性の有無にかかわらず児童にとって読み取りやすいようになっている。④
	4 構成・配列	○ 「日本の歴史」では、年表と共に領土の変化などがわかる地図を時代ごとに扱っており6年生の学習内容に適している。「日本の自然災害」では、日本全国に災害が起こった日時や場所、プレートがわかるように作成されており、4・5年生の学習内容、防災に関する学習内容に適している。②
	5 資料・その他	○ 自然災害と防災、日本の歴史、外国語科や外国語活動、理科、道徳、家庭科、国語、音楽など、社会科以外の学習活動にも活用できる資料を掲載している。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 地図から読み取って考えさせたい内容が、案内役のキャラクターの言葉で書かれている部分があるため、児童の論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成するという点においては配慮を要する。④
	2 内容の取扱い	○ 地球規模の環境問題に関わる資料の取り扱いについて、工夫を要する。⑥
	3 外的要素	○ 表紙の耐久性に配慮を要する。①
	4 構成・配列	○ 日本と世界のつながりに関して、歴史的なものに重点が置かれており、現代の状況についての指導に配慮を要する。②
	5 資料・その他	○ 各ページに登場する案内役のキャラクターが多く、児童の思考に与える影響に配慮を要する。②

地図		帝国（株式会社帝国書院）
総 評		大阪府の地図は100万分の1、50万分の1、20万分の1が扱われており、地図の活用方法や情報の見方を詳細に記載している。 文字の大きさにメリハリを付け、フォントはユニバーサルデザインを採用し、地図の情報を児童が視覚的にとらえやすい構成となっている。 日本各地の地図では「広く見わたす地図」と「日本各地の地図」の2つがある。「広く見わたす地図」では、都道府県の位置と名称を調べる活動の際に活用できる。 世界の写真の横に書かれている内容は統計資料と重複しているので、国の様子がわかる写真資料を増やすなどの配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力の向上にむけて、地図の活用方法や情報の見方を詳細に記載している。また、全ページカラー刷りで地図の情報を児童が視覚的にとらえやすい構成となっている。世界の主だった国々の基本情報の記載がありわかりやすい。
	2 内容の取扱い	○ 大阪府の地図は100万分の1、50万分の1、20万分の1が扱われている。② ○ 「広く見わたす地図」において、様々な絵図を地図上に添付することで都道府県の様子を読み取ったり、比較したりできるようにしている。③ ○ 日本の地形、気候が各2ページで扱われている。農業、水産業、工業、日本の空路が扱われている。「日本の領土とそのまわり」では、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることを記載している。 ○ 「世界各地の地図」における「集まれ！世界の子どもたち」では、世界各国の子どもたちの様子から異文化理解ができるように配慮されている。⑤
	3 外的要素	○ 文字の大きさにメリハリを付け、読み取りやすいようにしている。また、フォントはユニバーサルデザインを採用し、行間も適切である。図や写真の説明文などはすべて意味の切れ目で改行しているため読み取りやすい。② ○ 田、畑、果樹園の模様をつけ、障がいその他特性の有無にかかわらず児童にとって読み取りやすいようになっている。④
	4 構成・配列	○ 日本各地の地図では「広く見わたす地図」と「日本各地の地図」の2つがある。「広く見わたす地図」では、第4学年で学習する都道府県の位置と名称を調べる活動の際に活用できる。②
	5 資料・その他	○ 防災・減災についての資料や、外国語科、外国語活動、国語、算数、理科、音楽など、社会科だけではなく他教科でも活用できる資料を掲載している。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 都道府県を表す手話の取り上げ方が突発的で、統計資料としての地図帳の役割としては工夫を要する。③
	2 内容の取扱い	○ 地球規模の環境問題に関わる資料の取り扱いについて、工夫を要する。⑥
	3 外的要素	○ 見開きページに複数の異なる地図を掲載するために通し番号を付けているが、ほとんどのページが①だけである。②
	4 構成・配列	○ 日本と世界のつながりに関して、歴史的なものに重点が置かれており、現代の状況についての指導に配慮を要する。②
	5 資料・その他	○ 世界の写真の横に書かれている内容は統計資料と重複しているので、国の様子がわかる写真資料を増やすなどの配慮を要する。②

算 数		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		対話的な学びを実現する手立てとして、ノートの例示が工夫されており、各学年の発達段階に合わせ、友達の考えを書くことの紹介がある。 「学びのとびら」などで、問題解決の過程や結果の振り返りが分かりやすく示されている。 「つないでいこう 算数の目」などで、数学的に考える資質、能力を育むための工夫がされている。 中学校へのつながりを扱うページがやや少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ノートの例示では、友達の考えを書くことが紹介されており、対話的な学びの実現が図られている。（３年上 P. 45）③ ○ 「学びのとびら」では、問題提示からめあて、解決、まとめへと、問題解決学習の流れが分かりやすく示されている。（２年上 P. 2、3）③
	2 内容の取扱い	○ 数学的な見方・考え方ができるようにするために、単元の終末に「つないでいこう 算数の目」が設定されている。（６年 P. 23、４年上 P. 54 など）① ○ 単元の終末に「生かしてみよう」が設定されており、算数で学んだことを生活や学習に活用できるように工夫されている。（２年上 P. 49、４年上 P. 32）⑥ ○ ノート例を通して、友達の考えを記録したり、学習全体を振り返ってまとめを書いたりすることが示され、統合的・発展的に考察する力を養うよう工夫されている。（６年 P. 4、5）④ ○ ２年生以上で巻末に「おもしろ問題にチャレンジ」を設けており、発展的な内容や日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けることができるよう工夫されている。③
	3 外的要素	○ １年生第一分冊では、ノート機能も併せ持っており、発達段階的な配慮がされている。① ○ 巻末付録が学習に応じたものになるよう工夫されており、児童が使いやすいように配慮されている。③
	4 構成・配列	○ 理科（４年 P. 12、20）や生活科（１年下 P. 26、P. 97）など他教科と関連した内容の問題場面が充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 単元の導入にこれまでの学習の振り返りページを設定し、つながりのある単元の復習ができるように配慮されている。（３年上 P. 48、５年上 P. 8 など）②
	5 資料・その他	○ 問題場面に合った写真やイラストになるよう配慮されているので、問題場面がイメージしやすい。（３年下 P. 2、５年下 P. 20 など）③ ○ 計算場面や道具の使い方などで、デジタルコンテンツが用意されており、最新の統計情報が見られるため学習意欲につながる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習のヒントとなるふき出しがやや多く掲載されており、自ら問題意識をもって、考える学習を展開するには、指導者の工夫が必要である。③
	2 内容の取扱い	○ ４年上で世界のわり算が取り上げられているが、わり算が苦手な児童にとって混乱を招きやすい。②
	3 外的要素	○ 挿絵は、商品名が推測できるものが多数掲載されており、宣伝につながるものもある（２年上 P. 12 など）③
	4 構成・配列	○ 中学校へのつながりを扱うページがやや少ない。①
	5 資料・その他	○ 資料が２０１５年（６年 P. 190）や２０１６年（４年上 P. 21、P. 32）など古いものがある。①

算 数		大日本（大日本図書株式会社）
総 評		対話的な学びを実現する手立てとして、「算数まなびナビ」などで、ペア・グループ学習を含めた対話的な学びの方法が例示されている。 「読みとる力をのぼそう」などが全学年で設定されており、文章や、図、グラフから論理的思考力・判断力・表現力が育成できるよう工夫されている。 基礎的・基本的な知識技能を定着させる問題は充実しているが、発展問題の取り扱いが少ない。 デジタルコンテンツがすべて英語で表記されていたり、練習問題の文字とまとめの文字が同じ大きさだったり、表記に課題が残る。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭の「算数まなびナビ」において、ペア・グループ学習を含めた対話的な学びの方法が例示されており、対話的な学びの実現が図られている。（全学年 P.6～P.9）③ ○ 全学年において「読みとる力をのぼそう」が設定されており、論理的思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫されている。（2年 P.166、167 など）④
	2 内容の取扱い	○ 「算数たまたばこ」では、日常の事象を数理的に処理する場面や学習したことを使ったゲームなどを多く取り上げ、数学的活動の楽しさや数学のよさに気づくことができるよう工夫されている。（2年 P.59、P.95、P.115 など）⑥ ○ 「じっくり深く学び合おう」では、これまでの学習をもとに見通しをもち、筋道を立てて考えるような問題場面が設定されている。（3年 P.19）④ ○ プログラミングに触れる特設ページを全学年に設け、数学的な見方・考え方を発展させることができるように工夫されている。（2年 P.212）①
	3 外的要素	○ 作図の様子について、写真を使用し、見やすく分かりやすいように配慮されている。（3年 P.100、P.101）③
	4 構成・配列	○ 国語科（4年 P.38）、外国語活動（P.72）、など、他教科と関連した内容の問題場面が充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 全学年が合冊になっており、単元の見通しや学習の振り返りがしやすくなっている。① ○ 学習した内容を振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりできるように、「ふりかえろう」や「おうちで算数」が設けられている。②
	5 資料・その他	○ 「ふくろう先生のならほど算数教室」では、算数にまつわる話や、算数を生かして仕事されている方へのインタビューが取り上げられており、児童が算数に興味をもち、学習意欲が高まるよう工夫されている。② ○ 計算の練習や図形の学習の場面では、家庭でも利用できるデジタルコンテンツが用意されており、児童が興味をもち、学習意欲を引き出せるように工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 1・2年生の教科書が合冊で、比較的重い。④
	2 内容の取扱い	○ 「プラス・ワン」など、基礎的・基本的な知識技能を定着させる問題は充実しているが、発展問題の取り扱いが少ない。④
	3 外的要素	○ 練習問題の文字がまとめと同じ大きさのため、読みづらく、指導する際に配慮を要する。（全学年）② ○ 2年「1000より大きい数」の図では、背景と1000のまとまりが同じ色になっており、色使いに課題がある。（2年 P.66、67）③
	4 構成・配列	○ 1時間の学習内容としてはやや少ないところがある。（4年 P.183）②
	5 資料・その他	○ 5・6年「プログラミングにちょうせん」のデジタルコンテンツがすべて英語で表記されており、発達段階に やや合っていない。①

算 数		学図（学校図書株式会社）
総 評		2年生以上の巻頭に記載されている「算数で見つきたい考え方（モンスター）」が論理的思考力・判断力・豊かな表現力を育成する手立てとなっている。 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう、「3つの学び方で学習を進めよう」のページが設けられている。 学習段階が分かりにくく、学習過程の振り返りに配慮されたものが少ない。 吹き出しなどが多く、内容が分かりにくくなっているうえ、全体的に発展的内容が少なく、学びに向かう態度の育成に少し課題がみられる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成できるよう、2年生以上の巻頭に「算数で見つきたい考え方（モンスター）」が示されている。④ ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう、「3つの学び方で学習を進めよう」のページが設けられている。③
	2 内容の取扱い	○ 各単元導入「？を発見」では、日常の事象をもとに、数学的な見方や考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考えられるような問題場面が設定されている。① ○ 単元末問題を「できるようになったこと」と「まなびにいかそう」の2つにし、その単元で学習した知識・技能を明確にしながら、その知識・技能を生かして考察できるように工夫している。②
	3 外的要素	○ 6年生に、別冊として「中学生へのかけ橋」をつけ、中学校への進学を前にした児童が、数学に興味をもち関連内容を学習していけるよう工夫している。① ○ 1年生が上下分冊になっているので、軽くて薄いので、取り扱いやすい。1年生の発達段階に配慮がされている。①
	4 構成・配列	○ 生活科（1年下P71）体育科（6年P16・19）理科（6年P52）など、他教科と関連した内容の問題場면을充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 1年生から各学年に、プログラミング的思考を育成するためのページを設定し、QRコードによって実際に操作することができるようにしている。②
	5 資料・その他	○ 「算数で見つきたい考え方」がモンスターのキャラクターと結び付けて示されていて、子どもたちが興味をもって「見方・考え方」をゲットしていくような設定をしている。② ○ 自然の中のものを題材として取り上げることで、自然を大切にし、環境問題に数理的に関わっていこうとする態度を育成しようとしている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 全体的に発展的内容が少なく、学びに向かう態度の育成に少し課題がみられる。⑥
	3 外的要素	○ 絵や吹き出しなどが多過ぎて、内容が分かりにくくなっている。①
	4 構成・配列	○ 学習段階が分かりにくい。学習過程の振り返りに配慮されたものが少ない。②
	5 資料・その他	○ 題材が全体的にやや古い。②

算 数		教出（教育出版株式会社）
総 評		2年生以上の巻頭に「算数でつかいたい考え方」が示されており、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成する手立てとなっている。 日常の事象を数理的に処理する場面が多く紹介されており、学習した内容を振り返った後、生活に数学的な見方・考え方を生かすことができるよう工夫されている。 1年生の教科書が合冊で比較的重く、また、教科書に書き込むには、枠が小さい。 巻末に教具の扱いが示されているが、学習時に使用することを考えるとやや扱いにくい。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成できるよう、2年生以上の巻頭に「算数でつかいたい考え方」が示されている。④ ○ ノートの例示では、友だちの考えを書くことが紹介されており、対話的な学びの実現が図られている。（2年上P.34）
	2 内容の取扱い	○ 各単元導入「どんな学習が始まるかな？」では、日常の事象をもとに数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考えられるような問題場面が設定されている。① ○ 4年生以上で「広がる算数」のコーナーを設けており、発展的な内容や日常の事象を数理的に処理する場面が数多く紹介されている。③ ○ 統計まちがいクイズにちょうせん！など発達段階に応じて、資料を批判的に考察する力が養えるよう工夫されている。（4年下P.148）⑥ ○ 机が入り口を通るかなどといった日常の具体的な体験を伴う学習について適切に取りあげられている。（1年P.130）
	3 外的要素	○ 1、5、6年生が合冊になっており、単元の見通しや学習の振り返りがしやすくなっている。 ○ 作図の様子について、色づかいやイラストが配慮され、見やすく分かりやすい。吹き出しで数学的な視点が明確になるよう工夫されている。（5年P.64）③
	4 構成・配列	○ 生活科（1年P.86）や理科（4年上P.45）、社会科（5年P.185）など、他教科と関連した内容の問題場面が充実しており、教科横断的な配慮されている。① ○ 学習した内容を振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりできるように、「学んだことを使おう」が設けられている。②
	5 資料・その他	○ 単元末のふりかえろうでは、4コマ漫画を通して、学習内容の重要性についてユーモアを交えて確認することができる。（2年上P.111）② ○ オリンピック・パラリンピックに関連した資料が取り上げられ、児童が興味をもち、学習意欲を引き出したり、生活に生かそうとしたりできるよう工夫されている。（3年上P.130）
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習段階が分かりにくく、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点で指導する際に配慮が必要。③ ○ 1年生の教科書が合冊で比較的重い。④
	2 内容の取扱い	○ 「学びの手引き」として巻末に数学的な見方・考え方や教具の扱いなどが示されているが、学習時にリンクさせることは困難。②
	3 外的要素	○ 教科書に書き込むには、他社と比べて枠が小さく書きにくい。（2年上P.21 8mm×8mm 他社は10mm×15mm）②
	4 構成・配列	○ わり算の導入が包含除からとなっているため、これまでの指導方法を見直す必要がある。（3年上P.53）①
	5 資料・その他	○ 紹介されている写真について、比較的関東のものが多く、大阪の児童にとって興味・関心を高める資料となりにくい。（6年P.176）②

算 数		啓林館（株式会社新興出版社啓林館）
総 評		問題提示から課題発見、解決、まとめへと、問題解決学習の流れが分かりやすく示されている。 全学年の巻末に記載されている「学びにいかそう」から、学んだことを生活に活用し、よりよく問題解決していく態度を養う工夫がされている。 巻末付録が発展的なものやわかりやすい手立てとなるものではなく、学びに向かう態度の育成に課題がみられる。 学習内容や過程を振り返る手立てとなるものが少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 巻頭をはじめ、あらゆるところにQRコードが示され、保護者もデジタルコンテンツが利用できるように配慮されている。① ○ 問題提示から課題発見、解決、まとめへと、問題解決学習の流れが分かりやすく示されている。③
	2 内容の取扱い	○ 全学年の巻末に基礎的内容の習熟が図られるようになっている。② ○ 日記を題材にするなど、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付ける工夫がされている。（2年下P.114）③ ○ ノート例を通して、友だちの考え記録したり、学習全体を振り返って気づいたことを書いたりすることが示され、統合的・発展的に考察する力を養うよう工夫されている。（5年P.9）④ ○ 全学年の巻末に「学びをいかそう」が設けられており、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度や算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養うよう工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ 数量について認知しやすいよう、ブロックが5こと幾つに並べて示されている。③ ○ QRコードから利用できるデジタルコンテンツには、問題場面が音と映像で提示され、視覚的聴覚的に分かりやすく、ユニバーサルデザインに関する配慮がみられる。④
	4 構成・配列	○ 社会科（4年下P.114）や音楽科（5年P.172）など、他教科と関連した内容の問題場面が充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 1、5、6年と上下合冊になっており、単元全体の見通しや内容の関連が把握しやすい。② ○ 6年「ひろがる算数」では中学校との関連の内容が示されている。①
	5 資料・その他	○ 単元導入について、日常の事象から問題を見出せるように、写真が多く活用されるなど、工夫が随所にみられる。① ○ 6年「ひろがる算数」ではさまざまな職業と数学という形で中学校との関連の内容をはじめ、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すように工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ノート例が少し児童の発達に適していない。（2年P.9）④ ○ 1年生の教科書が合冊で比較的重い。④
	2 内容の取扱い	○ 全体的に発展的な内容が少なく、学びに向かう態度の育成に課題がみられる。⑥
	3 外的要素	○ 巻末付録がしっかりとした素材で丈夫であるが、特に必要のないものが多く含まれている。①
	4 構成・配列	○ 学習の内容や過程の振り返りに配慮されたものが少ない。②
	5 資料・その他	○ 資料が2016年（5年P.109）など古いものがある。①

算 数		日 文（日本文教出版株式会社）
総 評		主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう、「学び方ガイド」を上巻巻末の付録に設け、切り取って常時参照しながら学習を進めることを可能にしている。 子どものノートの記述例を見開きで示し、思考力や表現力が高まるよう配慮されている。 巻末に補充的な内容と応用的・発展的な内容をバランスよく取り扱い、数学的なおもしろさを感じ得できるようにしてある。 算数で学んだことを生活や学習に活用する学び方が、示唆されている部分が少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう、「学び方ガイド」を上巻巻末の付録に設け、切り取って常時参照しながら学習を進めることを可能にしている。③ ○ 「算数ノートをつくろう」では、子どものノートの記述例を示し、思考力や表現力が高まるよう配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 問題提示から課題発見、解決まとめへと、問題解決学習の流れが分かりやすく示されている。④ ○ 単元末の「確かめポイント」では、その単元で学習した基礎的・基本的な内容を確認できるようにしている。② ○ 巻末に「マイトライ」を設け、補充的な内容と応用的・発展的な内容をバランスよく取り扱い、手ごたえがあり、数学的なおもしろさを感じ得できるようにしてある。学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度や算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養うよう工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ 1年生が上下分冊になっており、軽くて薄いので、取り扱いやすい。1年生の発達段階に配慮がされている。① ○ 付録の図形を切り取る際、頂点まできれいに切り取れるよう配慮がされている。① ○ 「算数マイトライ」では、どのページが基礎・基本、応用、発展問題かが分かりやすく色分けされている。①
	4 構成・配列	○ 生活科（1年上 P. 71）体育科（6年 P. 93、94）家庭科（6年 P. 120）など、他教科と関連した内容の問題場面を充実しており、教科横断的な配慮がされている。① ○ 活動への意欲を高め、学んだことを進んで生活に生かす態度が身につくように、「Hello Math」が設けられている。②
	5 資料・その他	○ 「マテマランドを探検しよう」はテーマ毎にまとめられた複数の算数に関する話題の中から、個人やグループの興味・関心に応じて課題を解決しながら探究的な学習が進められるようになっていて、児童の学習意欲を引き出す工夫がある。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ QRコードが示されていないので、保護者への配慮がやや不足している。①
	2 内容の取扱い	○ 算数で学んだことを生活や学習に活用する学び方が、示唆されている部分が少ない。⑥
	3 外的要素	○ 「学び方ガイド」「算数で使いたいことば・考え方」を上巻巻末の付録に設け、切り取って常時参照しながら学習を進めることを可能にしているが、子ども自身が管理しにくい。①
	4 構成・配列	○ 単元末に生かす問題が設定されていない。②
	5 資料・その他	○ 絵が多く、写真がやや少ない。②

理 科		東書（東京書籍株式会社）
総 評		安全面に配慮した記述が多く、安全を守るための力の育成に役に立つ。 所々、外国人と思われる児童の写真や挿絵があり、世界の人々との共生について配慮されている。 冊子が大きく重いため、第3学年から使うことを考えると扱いにくい場面が想定される。 児童にとって身近に感じられる大阪や関西圏の写真が少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 安全面に配慮した記述が多く、安全・安心して成長できる社会の実現につながる。① ○ 所々、外国人（と思える）児童の写真や挿絵があり、多文化共生の社会を大切にしている雰囲気が伝わる。⑤
	2 内容の取扱い	○ 記述が丁寧である。④ ○ 問題解決のプロセスを教師も児童も意識しやすいレイアウトになっている。⑤ ○ 前年度で習ったことも想起できるように「学んだことを使おう」があり、理科を苦手とする児童も考えやすい。③ ○ 盛りだくさんの内容を取り扱っている。④ ○ 学習内容の発展を「理科のひろば」という欄で取り扱い、実生活への活用を紹介するページが充実している。⑥
	3 外的要素	○ 写真が鮮明で大きく見やすい。写真の内容もよい。③
	4 構成・配列	○ まとめの後に、生活や社会の中で活用されている科学について紹介されていて、児童が科学を学ぶ意義や有用性を実感しやすい。②
	5 資料・その他	○ 「理科の調べ方を身につけよう」はイラストや写真も分かりやすく、学年に応じた技能を身につけやすい。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学力向上には適した教科書といえるが、やや難しい記述がある。学習のまとめに評価のテストがあるため、時間配分に配慮を要する。④
	2 内容の取扱い	○ 台風・天気の実験が時期から外れている。⑤ ○ 6年の「電気と私たちの暮らし」の単元では、学習指導要領から削除された電流の発熱を取り扱っている。また電源装置の取り扱いも載っている。発展的な取り扱いなら良いが、指導事項になっているのは、問題がある。① ○ 6年 P.191 の過去 500 年間の気温の変化を％で表しているが、なぜ％という単位なのか児童にとって分かりにくい。④
	3 外的要素	○ 冊子が大きく重い。第3学年から使うことを考えると扱いにくい場面が想定される。特に第3学年は屋外で教科書を使用する場面が予想される。① ○ 黄緑が基調のため、少数色覚児童への配慮が必要である。④
	4 構成・配列	○ 文字の大小の差が大きく、小さい文字が目立たない。また、字のフォントも多様で、読み辛いところがある。① ○ 目次が裏表紙にあり使いにくい。①
	5 資料・その他	○ 児童にとって身近に感じられる大阪や関西圏の写真が少ない。② ○ 5年「メダカのたんじょう」では、解剖顕微鏡のみを取り扱い、双眼実体顕微鏡の取り扱いがない。①

理 科		大日本（大日本図書株式会社）
総 評		児童の発達の段階・特性に応じた文の量と、分かりやすい表現で、内容が構成されている。 所々、外国人と思われる児童の写真や挿絵があり、世界の人々との共生について配慮されている。 問題解決のプロセスの中で教員の言葉や、予想（期待）される児童の発言や様子等が記載されており、授業をイメージしやすい。 児童が書いた観察記録の例が小さく、鮮明さに欠ける箇所があり、写真も同様のことが言える。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童の発達の段階・特性に配慮して、内容が構成されている。④ ○ 所々、外国人と思える児童の写真があり、多文化共生の雰囲気が伝わってくる。⑤
	2 内容の取扱い	○ 問題解決のプロセスの中で教員が言う言葉や、予想（期待）される児童の話し合う内容・様子が記載されており、授業をイメージしやすい。（例：6年P.174 「二酸化炭素が水にとけるかどうかを調べるためにはどうすればよいか、考えましょう」）①
	3 外的要素	○ 扱いやすいサイズで屋外の使用にも適している。① ○ 適切な文章量であり、文字の大きさやフォントも適切である。② ○ 5年「メダカのたんじょう」のP.50～51の写真は、前から見た写真と上から見た写真の2方向を掲載してあり、とても分かりやすい。③
	4 構成・配列	○ シンプルで分かりやすいレイアウトになっている。① ○ 単元配列は、自然の変化に合っていて、並行して取り扱う単元も、まとまって掲載されている。②
	5 資料・その他	○ 巻末には器具の取り扱いについて写真やイラストつきで記載されている。② ○ チャレンジ問題は、学習した内容を生活場面で活用して考えることができる内容になっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 4年「わたしたちの体と運動」の単元は、インクルーシブ教育の観点から配慮を要する。他の教科書は、義手や義足の方の写真が掲載されていたり、配慮する文言が記載されていたりしている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 予想や考察の場面では言葉だけのやり取りが目立つ。実際にイメージしていることを図やモデルなどで表現しなければ、共通点や差異点は見だしにくくなる。② ○ これといった特徴や工夫が見られない。①
	3 外的要素	○ 児童が書いた観察記録の例が小さく、鮮明さに欠ける箇所がある。（例 4年P.106）写真も同様のことが言える箇所がある。③
	4 構成・配列	○ 構成も配列も特に劣っている面や配慮を要する面は見られない。①
	5 資料・その他	○ 4年「電池のはたらき」という単元名は、「電気のはたらき」もしくは「電流のはたらき」と表現することが望ましい。①

理 科		学図（学校図書株式会社）
総 評		各学年も巻頭に、内容ごとに単元や意識させたいことが明示され、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を段階的に育成するように配慮している。 問題解決の過程において児童に働かせたい考え方を養うために、過程や進め方について明記している。 単元導入のページで、写真は大きいが記述の部分が小さいので興味がひきにくくなっている。 観察したものの写真の色の見え方によっては、児童の誤解を招く可能性がある。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ どの学年もはじめに、その学年で意識させたいことを明記しており、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を段階的に育成するように配慮している。④
	2 内容の取扱い	○ 問題解決の過程において児童に働かせたい考え方を、計画の場面（5年の条件制御）や考察の場面（4年の関係付け）などで明記している。① ○ 5年P.185の「けんぴ鏡の使い方」など、実験器具の使い方において、詳しく確認しながら作業できるような工夫がされている。② ○ 実験結果を極力記載しないようにし、児童の行った観察や実験の結果をもとに問題解決を行うことを重視している。③ ○ 6年「ものの燃え方と空気」のP.23の資料など、日常生活や社会との関連を分かりやすく例示している。⑥ ○ 6年「水溶液の性質」のP.152「薬品をあつかうときの注意」など、イラストを用い注意点を分かりやすくまとめて記載されている。⑦
	3 外的要素	○ 4つの領域がそれぞれ色分けされており、一目で分かるように配慮されている。③
	4 構成・配列	○ 4年生の雨水の行方と水の状態変化の単元配列が工夫されており、他者よりも教えやすく扱っている。①
	5 資料・その他	○ タブレットを使って観察記録をつける記述があり、ICT機器の利用を促す記載がある。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 4年「体のつくりと運動」において、他者は障がいのある方の写真を掲載している。また、話合いのイラストにおいても、車椅子の児童の描写があるが、学校図書にはそのような配慮がみられない。⑤
	2 内容の取扱い	○ 5年「種子の発芽と成長」P.28の写真は、発芽後の子葉が紫色になっているように見えるため、児童の誤解を招く可能性がある。② ○ 6年「月と太陽」の単元で月の高度を調べる観察があるが、4年生での指導事項であり、本単元の月の満ち欠けには直接関係がない。②
	3 外的要素	○ 単元導入のページで、写真は大きいが記述の部分が小さいので興味がひきにくくなっている。②
	4 構成・配列	○ 3年「風のはたらき」「ゴムのはたらき」や5年「ふりこの運動」の単元配列が他者と比べて独特であり、使いにくい。②
	5 資料・その他	○ 放射温度計の記載が無い。①

理 科		教出（教育出版株式会社）
総 評		吹き出しのアドバイスが効果的であり、見通す考え方、考察の仕方など、理論的に思考を重ねることができるように工夫されている。 問題の前に「見つけよう」の時間があり、自然の事物・現象への関わり方を育むための適切な内容が取りあげられている。 全学年とも、大阪の気候をもとに考える際には単元配列に配慮を要する。 金属の体積変化を棒の膨張のみでとらえさせており、体積変化の扱いが軽い。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 5年 P. 36～37 の「お茶の水博士」のアドバイスが効果的であり、見通す考え方、考察の仕方など、理論的に思考を重ねることができるように工夫されている。④
	2 内容の取扱い	○ 問題の前に「見つけよう」の時間があり、自然の事物・現象への関わり方の工夫がされている。① ○ 4年「もののあたたまり方」において、示温インクが取り入れられており、実験の結果が分かりやすく、「水のあたたまり方」と比較しやすくなっている。② ○ 3年 P. 176 の実験結果を、○×だけでなく黒板を使ってまとめをする工夫がされている。③ ○ 問題解決の過程を意識した作成方針が伝わってくる。③
	3 外的要素	○ 5年 P. 124～125 など、使われている写真が大きくて見やすいものが多い。③
	4 構成・配列	○ 5年『メダカのたん生』の P. 58 にある算数とのつながりなど、他教科との関連についても示している。①
	5 資料・その他	○ 「科学のまど」という欄で、大賀ハスの話を大きく取り扱い、身近な自然の中での発芽の様子がよく分かる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 比較的文章量も少なく、文字への抵抗の少ない教科書ではあるが、児童の主體的な学びを促すような工夫がやや少ない。③ ○ 4年「体のつくりと運動」において、他社は障がいのある方の写真を掲載している。また、話合いのイラストにおいても、車椅子の児童の描写があるが、教育出版にはそのような配慮がみられない。⑤
	2 内容の取扱い	○ 金属の体積変化を棒の膨張のみでとらえさせており、体積変化の扱いが軽い。金属球の実験も記載してほしい。② ○ ミョウバンが「ろ液」の中にまだあるのではないかとすることを確かめるための、蒸発皿を使った実験を取り扱っていない。③
	3 外的要素	○ 5年『メダカのたんじょう』の P. 60～61 のメダカの卵の発生の写真が暗く、とても見づらい。③
	4 構成・配列	○ 3年生の構成が季節通りではなく、単元ごとになっているため使いにくい。② ○ 全学年とも、大阪の気候をもとに考える際には単元配列に配慮を要する。②
	5 資料・その他	○ 5年生の教科書の中で一番ページ数が多く、200 ページを超えている。①

理 科		啓林館（株式会社新興出版社啓林館）
総 評		安全面に配慮した記述が多く、安全に実験などを実施できるよう配慮されており、安全を守るための力の育成に役に立つ。 問題発見、予想、計画、観察・実験、結果、考察、結論、生活化、さらに調べたいことの抽出や生活に生かされている事象の発見と、問題解決過程を重視し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改革に役に立つよう配慮されている。 車いすや外国人と思われる挿絵があり、男女共生、多文化理解と共生の精神への配慮が見られる。 実験結果が、写真や数値で書き込まれており、参考にはなるが、自分のデータを書き込めるような工夫を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 安全面に配慮した記述が多くみられ、児童が安全に実験などを実施できるよう配慮されている。① ○ 問題発見⇒予想⇒計画⇒結果の見通し⇒実験・観察⇒結果の整理⇒自分の結果や他の児童の結果の考察⇒結論（まとめ）⇒さらに調べたいことの抽出や生活に生かされている事象の発見、と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改革に役に立つよう配慮されている。③ ○ 男女共生、多文化理解と共生の精神が見られ、車いすや外国人と思える挿絵がある。⑤
	2 内容の取扱い	○ 発光ダイオードやLED、酸素測定器（センサー）、放射温度計、電気自動車などの新しい技術の紹介があり、夢がもてる記述が多い。③ ○ すべてのページで問題解決の過程を示す言葉があり、主体的に問題解決する文言が掲載されている。③ ○ 「まとめ（結論）」の段階が「考察」と書かれてあったが、「考察」は、自分の実験の結果や友だちの結果から考える段階であると改められている。⑤ ○ 単元の導入時に大きな写真を掲載し、その単元を見通した問題発見ができるよう工夫されている。②
	3 外的要素	○ 文字が大きく、UDフォントを使っていて読みやすい。② ○ 挿絵や写真が適切である。③
	4 構成・配列	○ 大阪の気候に合った単元配列になっており指導しやすい。また、並行して学習していくものは、連続した単元になるよう工夫されている。① ○ 学習した内容を確実に習得できるよう、学習内容や学習過程を振り返ったり学んだことを生活に生かしたりすることができるよう構成に工夫がある。②
	5 資料・その他	○ 「化学の窓」の記述が学習内容を踏まえて効果的に行えるような配列になっている。① ○ 5年「ヒトのたんじょう」の導入ページでも出産のときの男性の役割が読み取れるような工夫がある。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習の内容を振り返る単元末の「まとめのノート」のページは、簡潔にまとめているが、児童が主体的にまとめようとする意欲を引き出すには、もう少し工夫があるといい。③
	2 内容の取扱い	○ 3年「ものの重さ」の単元では、身近な固体である砂糖と食塩を体積にして重さを比べる実験が抜けている。他社はすべて取り扱っている。⑤
	3 外的要素	○ 5年「ヒトのたんじょう」のP.40～50のイラストは生々しく、少し違和感がある。③
	4 構成・配列	○ 学習したことを単元の最後にまとめるとき、手書きの文字ですべてまとめられている例があり、それを写してしまうと主体的にまとめることができなくなるのが課題である。②
	5 資料・その他	○ 実験結果が、写真や数値で書き込まれており、参考になるのもいいが、自分のデータを書き込めるような工夫を要する。①

生 活		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		上巻「がっこうせいかつ すたあと」の資料には、小学校生活を始める1年生児童に対して入学当初の授業の特色を示したり、生活科の学習への理解を促したりする工夫が見られる。 幼児期の終わりまでに育てたい10の姿をイメージしやすいように写真やイラストを効果的に使うことができている。 吹き出しの言葉が精選されており、発言の例が吹き出しでたくさん示され、児童が考え、判断し、表現する力が育つように配慮されている。 教科書が大きく、重くて文字は小さい。机のスペースが狭くなり、作業がしにくくなる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 上 P.1～13 など「がっこうせいかつ すたあと」で児童も保護者も安心できるような写真やイラストを使用し、言葉も精選されている。① ○ 発言の例が吹き出しでたくさん示され、児童が思考力・判断力、表現力が育つように配慮されている。③④
	2 内容の取扱い	○ 上 P.1～13 に「がっこう せいかつ すたあと」を設置し、学校生活をスタートする児童と保護者に生活科についてがわかるガイドや入学当初の授業の特色を示す工夫ができている。幼児期の終わりまでに育てたい10の姿をイメージしやすいように写真やイラストを効果的に使うことができている。⑦ ○ 上下巻末 P.115～112、P.107～128 に安全のことや学び方、どんな場所にどんな生き物があるかなどが掲載されており、学びの手立てとなっている。③ ○ 吹き出しの言葉が精選されており思考の方向性がわかりやすい。②
	3 外的要素	○ 全体的にページが大きく、図や写真も大きく鮮明である。③ ○ 上巻のポケット図鑑が実際の大きさなので児童がイメージしやすい。④
	4 構成・配列	○ 上では、同一の公園の季節ごとの様子が載っており、春・夏 P.44～45、秋 P.70～71、冬 P.96～97 など季節の変化に目を向けられるようになっている。② ○ 下 P.23～32、P.71～87 では町たんけんが2回設定され、活動を繰り返すことによって学びを深めていくことができるようになっている。②
	5 資料・その他	○ 上 P.45 では各地の特色や伝統的行事などの写真を使い、暮らしについて考えやすい工夫がされている。① ○ 下 P.100～101 では児童が手書きした作文や新聞などの成果物を出し、まとめ方が参考になっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 下 P.83 の「つたえ方をえらぼう」で3つの方法が示されているが、選ぶということで他の方法を考えにくい。③
	2 内容の取扱い	○ 下 P.51～P.53 の「うごく うごく わたしのおもちゃ」では、児童のシートが載っているが、同一人物のものにして変容がわかるようにしてもよい。⑥ ○ 下 P.30～P.31 の地図中の表記で使われている漢字が児童にとって難しい。（学習していない）③
	3 外的要素	○ 教科書が大きく、重いが文字は小さい。机のスペースが狭くなり、作業がしにくくなる。②
	4 構成・配列	○ 下 P.28～29 など他教科（3年社会）との関連に工夫がされているが、町探検など児童に関連がわかりにくい。
	5 資料・その他	○ 下 P.128 のデジタルカメラは、タブレットなど、実際に使われているような、なじみのあるものがよい。②

生 活		大日本（大日本図書株式会社）
総 評		児童の試行錯誤が生まれるような教室環境の工夫がイラストで表現されており児童がイメージしやすいような配慮がある。 児童の発言の例が吹き出しでたくさん示され、自ら考え、判断し、表現する力の育成が促される構成になっている。 吹き出しが多い分、イメージはしやすいが、考え方を引き出す場面で指導者の指導方法の工夫が必要である。 資料が豊富である反面、情報が多く、低学年の児童にとっては、情報の活用の仕方に指導の工夫が必要である。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 下 P. 76～77 で、児童の試行錯誤が生まれるような教室環境の工夫がイラストで表現されている。③ ○ 上 P. 83～85 では児童の発言の例が吹き出しでたくさん示され、思考力・判断力、表現力が育つような構成になっている。④
	2 内容の取扱い	○ 上 P. 1～7 に「しょうがっこう せいかつ はじまるよ」を設置し、学校生活をスタートする児童に生活科についてがわかるイラストや写真を使い、入学当初の授業の特色を示す工夫ができています。幼児期の終わりまでに育てたい10の姿をイメージしやすいようにできている。⑦ ○ 巻末の「がくしゅうどうぐぼこ」上 P. 104～129 下 P. 106～137 に安全のことや学び方が掲載されているのが学びの手立てとなっている。③ ○ 上 P. 32～33 など吹き出しの言葉が精選されており、思考の方向性がわかりやすい。②
	3 外的要素	○ 表紙に穴が開いているように見せたり、凹凸を付けたりするなど、児童が生活科に興味関心を持ち、親しみを感じることができるよう工夫されている。① ○ 下 P. 34 など写真やイラストにアップでとられたものが多く、臨場感があり、児童の興味関心を高めることに効果的である。③ ○ 下 P. 113 では、シートを重ねると夜の町の様子が表現されるようになっていて、夜の様子を児童にイメージさせる工夫がされている。③
	4 構成・配列	○ 上 P. 30～31 では春・夏、P. 44～45 夏、P. 74～75 では冬と、同一の公園の季節ごとの様子が載っており、季節の変化に目を向けられるよう工夫されている。② ○ 下では町たんけんが2回設定され、活動を繰り返すことによって学びを深めていくことができるようになっている。②
	5 資料・その他	○ 上 P. 70～71 では実際の授業から抜き出したと思われるリアリティのある写真が掲載されており、生活科に親しみや興味を持てるように工夫されている。② ○ 上 P. 94 などの板書例が考えを深めていくイメージとして、児童に活動や思考の見通しをもたせられる。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 下 P. 88 など吹き出しが多い分、イメージはしやすいが、思考の方向が偏りすぎてしまう可能性がある。②
	3 外的要素	○ 他社の教科書に比べ、サイズが小さいためフォントが小さく見にくい部分がある。②
	4 構成・配列	○ 下 P. 46 など他教科との関連に工夫がされているが、小さいので児童にとってわかりにくい。①
	5 資料・その他	○ 下 P. 134～135 など資料が豊富である反面、情報が多く1、2年生の児童には処理できない可能性がある。②

生 活		学図（学校図書株式会社）
総 評		地域での生活にも活かすことができる教材を提示しており、安心して成長できる環境や体力の向上などに生かすことができる。 同一の町の季節ごとの変化の様子が挿絵で表現されていて、季節の変化と町の変化を関連付けて考えることができるように配慮され、考える力や表現する力の育成につながる工夫となっている。 単元の終わりに振り返りや次につながるページが必要である。 学習カードやノートや新聞など、児童の成果物として表現されたものの記載が大人の字と思われ、やや不自然である。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 上 P. 46～47 では、「だるまさんがころんだ」「けいどろ」などが紹介され、地域での生活にも生かすことができることから、安心して成長できる環境や体力の向上などに生かすことができる。① ○ 下 P. 28～35 では同一の町の季節ごとの変化の様子が挿絵で表現されていて、季節の変化と町の変化を関連付けて考えることができるように配慮され、考える力や表現する力につながる工夫となっている。④
	2 内容の取扱い	○ 上 P. 24～25 では、「ものしりのうと」として観察カードの書き方が詳しく紹介されていることから、具体的な活動や体験を活性化することに効果的であり、見つける・比べる・たとえるなど思考表現の基礎を身につける工夫にもつながっている。①⑥ ○ 下 P. 2～27 では、町たんけんについて、身近な人・ものが写真やイラストで紹介され、発見カードの例も豊富で、身近な人々や社会に関して表現する意欲を高める工夫がされている。④ ○ 下 P. 64～69 ではダンゴ虫の脱皮や幼虫の写真が大きく掲載され、身近な自然のよさや特徴に気づき、意欲的にかかわろうとする態度を養う工夫がされている。⑤
	3 外的要素	○ 上 P. 62～63 では秋の木の葉とどんぐりがセットでわかりやすくイラストで表現されている。③ ○ 上 P. 48～49 のように見開きで活動が表現されタイトルの場所が決まってい、フォントも大きく見やすい。②
	4 構成・配列	○ 下 P. 112～113 では、作文や手紙の書き方が詳しく表現されている。国語科と関連した指導ができるよう配慮されている。① ○ 上下ともに目次で、1年間の学びや活動の時期が分かるように暦として整理されているので、効果的な指導ができる。①
	5 資料・その他	○ 上 P. 114～124、下 P. 104～120 では学び方図鑑として、話し方や発表の仕方などが詳しく紹介され、学習を有効に進めるために効果的である。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 全体にタブレットや ICT の活用場面が少ない。②
	2 内容の取扱い	○ 上 P. 82～91 でうさぎ、モルモット、などが中心に紹介されているため、大阪市の児童は馴染みがなく、イメージを持ちにくい。①
	3 外的要素	○ 上下とも表紙のイラストがバラバラに配置されて、関連性がない。①
	4 構成・配列	○ 単元の終わりに振り返りや次につながるページが少ない。①②
	5 資料・その他	○ 下 P. 86～89 のように、学習カードやノートや新聞など、児童の成果物として表現されたものの記載が大人の字と思われ、やや不自然である。②

生 活		教出（教育出版株式会社）
総 評		児童が安全（やくそく）を意識できるような工夫がされており、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。 単元ごとに考える場面を取り上げるページが設定され、特に、自分たち自身の成長について整理する様子をイラストと写真で大きく詳しく掲載される等、主体的、対話的で深い学びが実現できる。 おもちゃを使って自ら生活に活かしていこうと考える活動がなく、活用するための気づきを工夫する必要がある。 活動が限定される恐れのある箇所があるため工夫を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 下 P. 76～77 のように、単元ごとに考える場面を取り上げるページが設定され、児童が主体的、対話的で深い学びが実現できるように配慮されている。③ ○ 上 P. 17（他 4 か所）、巻末の P. 67～68、下 P. 28～29、同 P. 134～136 に児童が安全を意識できるような工夫がされている。（やくそく）①
	2 内容の取扱い	○ 上 P. 8～13 の下部分には、入学前に培ったことを具体的なイラストで表現していることにより、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図ることができる。⑦ ○ 下 P. 106～107 では、黒板に X チャートを使って自分たち自身の成長について整理する様子をイラストと写真で大きく詳しく掲載され、具体的に気づくことができるように工夫されている。② ○ 学習の手順や資料・観察の視点（上 P. 36）がよく児童にとって分かりやすい。⑥
	3 外的要素	○ 上下表紙など、写真やイラストがカラフルで表情も豊かであり、児童が親しみを持ちやすい。③ ○ ページ数表記について、単元ごとに 4 色で分けられている。また、上 P. 30～31 のように、単元導入のページの下欄には、各学年での単元の位置づけが表記されていて分かりやすい。④
	4 構成・配列	○ 下 P. 24～44 では町探検の活動が効果的に進められるように構成配列されている。① ○ 上 P. 127～136 P. 127～136 では、「学びのポケット」と題して各教科の技能や考え方につながる情報が掲載され、教科横断的な視点が盛り込まれている。① ○ 上 P. 21（他 9 か所）、下 P. 19（他 9 か所）に「まんぞくハシゴ」が掲載され、単元ごとに児童が学びを振り返ることができる。②
	5 資料・その他	○ 上 P. 116～117 では、四季の自然の変化が写真を見て分かるように構成されていて、児童の学習意欲を引き出す工夫となっている。② ○ QR コード（動画）があり、家庭でも意欲的に学べる。② ○ 上 P. 6～7 の児童が 2 年間で成長し、下 P. 137 につながるストーリーとして表現されており、児童が自分の成長を重ねることができる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 話し合いの授業場面で、タブレットや ICT 活用が少ない③ ○ 児童の発達段階を考えると、上 P. 28～29 で、公園施設・遊びのルールにふれ、その後 P. 48～49 の学習につなげる方が安全である。④
	2 内容の取扱い	○ 下 P. 84～100 の「作ってためそう」では、おもちゃを使って自ら生活に生かしていこうと考える活動が見当たらない。⑤
	3 外的要素	○ 上 P. 73 のキャラクターのつぶやきの字が背景の中で小さくて分かりにくい。そして、P. 97 のうけねらいは不要である。② ○ 上 P. 21 の見出しはゴシック体であり、「て」の濁音の点の位置が違っているため、ひらがな習得時の児童に混乱が生じる恐れがある。②
	4 構成・配列	○ 下 P. 60～81 など、活動が限定される恐れがある。②
	5 資料・その他	○ 下 P. 123 のタブレットに紐をつけるなど落とさない工夫が欲しい。① ○ 下 P. 47 の写真は、監修者ではなく、身近な地域の方などが児童にとって実現可能性があり、ふさわしい。②

生 活		光村（光村図書出版株式会社）
総 評		各所に「どうすれば」よいかなど場面を取り上げるページが設定され、道徳教育に生かすことができる内容となっており他教科との関連を積極的に図っている。 小学生になったら出会う新しい人・もの・ことを写真やイラストで表現していることにより、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮し幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図ることができる。 育てる植物の生長の様子が分かりにくい。 本市の小学校の実態を考慮すると、多文化共生の観点から他国の人が登場しないのは不自然である。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 上 P. 20 を始め、各所に「どうすれば」よいかを場面を取り上げるページが設定され、道徳教育に生かすことができる。⑤ ○ 上 P. 13、P. 138～139、下 P. 22（他 3 か所）、巻末の P. 98～99 に児童が安全を意識できるような工夫がされている。①
	2 内容の取扱い	○ 上 P. 4～13 には、小学生になったら出会う新しい人・もの・ことを写真やイラストで表現していることにより、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図ることができる。⑦ ○ 上下ともに、各単元の振り返りの場面では、巻末のシールを用いて、整理できるようになっている。また、学年末には、そのシールを見開きページ（上 P. 136～137、下 P. 96～97）に貼りかえて自分自身の成長に気づくことができるように工夫されている。②
	3 外的要素	○ 裏表のイラスト表紙など、イラストが豊富でソフトな色づかいであるため、絵本のように児童が親しみを持ちやすい。③ ○ 表紙のコーティングが丈夫で、各ページの用紙の厚みや滑りにくい表面加工のため、児童がページをめくりやすい。①
	4 構成・配列	○ 下 P. 107～110 では、「きせつのおくりもの」の写真が大きく掲載され、四季の自然の変化を効果的に振り返ることができる。① ○ 上 P. 27（他 7 か所）、下 P. 17（他 7 か所）に「したことや、やってみたいこと」をシールに書いて貼るページが掲載され、單元ごとに児童が学びを振り返ることができる。②
	5 資料・その他	○ 上 P. 112～123 では、四季の自然の変化がイラストや写真で構成されていて、児童の学習意欲を引き出す工夫となっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 上下巻ともに、タブレット活用の話し合いの場面がない。③ ○ 單元ごとに「ホップ、ステップ、ジャンプ」として、活動が決まっているため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を展開できない。③
	2 内容の取扱い	○ 巻末の「見つける、くふうする」「あらわす、つたえる」（上 P. 142～143、下 P. 102～103）については、上下巻ともに同じ内容のため、児童の発達に応じた活動の工夫が必要である。振り返りのシールの台紙となるページのイラスト（上 P. 136～137、下 P. 96～97）も同じである。⑤ ○ 本市の小学校の実態を考慮すると、他国の人が登場しないのは、不自然である。①②④
	3 外的要素	○ 上の全 148 ページの場合、イラストと言葉のみは、65 ページで、下 108 ページの場合、68 ページであり、写真の活用が少ない。上巻が下巻より 40 ページ多く、上巻が重い。③ ○ 上下巻ともに巻末シールの色分けは、ページごとに同じである。学習指導要領の内容に合わせて、單元ごとに配色すると分かりやすい。④
	4 構成・配列	○ 下 P. 74～75 など、言語活動が多く活動が限定される。② ○ 育てる植物の生長の様子が分かりにくい。上.. 28～43①
	5 資料・その他	○ 上下巻ともに、巻頭・巻末の工藤直子氏の詩に合わせた構成となっており、児童の視点からはやや離れている。②

生 活		啓林館（株式会社新興出版社啓林館）
総 評		スタートカリキュラムに通学の約束や災害時の避難の約束が示され、子どもたちが安全についての生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。 問いかけている吹き出しや、話し合っている挿絵に思考ツールが使われている板書例が掲載されていることで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができる。 「生きもの大すき」の單元では、多くの大阪市の学校では触れ合うことができない生き物が掲載されているので、具体的な活動や体験についての学習をするには配慮を要する。 目次を見たときに季節を表現する絵やことばの表現が少ないため、目次を見て指導をする際に工夫が必要である。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 上のすたあとぶっくのP. 16, 17 や下P. 128に通学の約束や災害時の避難の約束が示され、子どもたちの安全について示されている。① ○ 上P. 45 や下P. 27 には、問いかけている吹き出しや下P. 30 に話し合っている挿絵、上P. 92 やP. 99、下P. 94 に思考ツールが使われている板書例が掲載されていることで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができる。③④ ○ 上P. 68～69 には「大せつないのち」や下P. 84～85 の「わたしの町」では道德教育を通して、豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実に役に立つ。②
	2 内容の取扱い	○ QR コードを使って、ホームページや動画を見ることができ、活動の見通しや例を示すことができる。① ○ 下P. 86～95 「町たんけん」では、写真や学習の流れが詳しく表現され、児童が身近な人々や社会を自分との関りで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるように工夫されている④ ○ 上P. 8～11 「きになるばしょにいてみよう」では、学習する観点として、もの・ばしょ・ひとや、下P. 64～65 「あそび方やルールをくふうしよう」では、くらべる・ためす・くふうするように考える視点が明示されている。⑥
	3 外的要素	○ 下P. 31 など児童が実際に活動をしているような写真や、ワークシートが掲載されており、活動の様子がわかりやすくなっている。③ ○ タイトルなど見やすいユニバーサルデザインフォントや内容が伝わりやすい配色・デザインを用いている。②
	4 構成・配列	○ 上P. 17 やP. 33、下P. 67 やP. 83 など、「できるかな できたかな？」で学習の振り返りを行えるように配慮され、活動が連続発展するよう工夫されている。② ○ 上P. 64, 65 やP. 68 に国語科や図画工作科、体育科、道德科など教科等横断的な視点があり、効果的な指導が行われるように工夫されている。①
	5 資料・その他	○ 上下巻とも「がくしゅうずかん」が巻末にあり、活動のルールや方法や話し合いのヒントなどが詳しく掲載されている。① ○ 上P. 74～75 やP. 81 の写真が本当の大きさと掲載されているので、児童がイメージしやすく興味関心を高める工夫となっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 情報機器の活用について、発表などで使用している写真は掲載されているが、使い方や活用の仕方の情報量を工夫すると活動に広がりがある。④
	2 内容の取扱い	○ 上の「生きもの大すき」の單元では、多くの大阪市の学校では触れ合うことができない生き物が掲載されているので、具体的な活動や体験についての学習がしづらい。①
	3 外的要素	○ 上の「すたあとぶっく」のページが他のページより小さく、最初のほうのページがめくりにくくなっている。①
	4 構成・配列	○ 目次を見たときに季節を表現する絵やことばの表現が少ないため、目次を見て指導をする際に工夫が必要である。①
	5 資料・その他	○ ワークシートが掲載されているが、児童の実態よりも文の量が多いことやその例文に児童の思考が流されてしまう。

生 活		日 文（日本文教出版株式会社）
総 評		「町のすてき」というタイトルで地域に住む様々な人が紹介されている。その中で安全な地域について気づきが深まるように工夫されており自分と身近な人々の関わりに気づくことができる。 各活動や小单元ごとに設けられている「ふりかえり・つなげる」のコーナーでは、活動の振り返りが新たな活動の意欲につながるような表現になっていることから、主体的な活動が連続発展し、深まっていくよう構成されている。 考える技法が紹介され、児童の発達段階に応じて、自ら問題を発見し、考えたり、ふり返ったり、見直したりしながら、新しいことを発見したり気づいたりできる力を育成する工夫がされている。 学校探検や町探検の活動の中では、生活上必要な習慣や技能を身につけづらい。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 下 P. 78～79 では、「町のすてき」というタイトルで地域に住む様々な人が紹介されている。その中で安全な地域について気づきが深まるように工夫されている。①③ ○ 各活動や小单元ごとに設けられている「ふりかえり・つなげる」のコーナーでは、活動の振り返りが新たな活動の意欲につながるような表現になっていることから、主体的な活動が連続発展し、深まっていくために有効である。③④ ○ 上 P. 130、下 P. 114～115 では考える技法が紹介され、児童の発達段階に応じた論理的思考力判断力の育成に効果的である。④
	2 内容の取扱い	○ 上 P. 36～46 など、ページ上部に「てをあらおう」など、生活上必要な技能に着目させる工夫がある。③ ○ 上 P. 4～17 スタートカリキュラムのページであると明確に位置づけられ、写真やコメントを通して、幼児教育との円滑な接続ができるように工夫されている。⑦ ○ 下 P. 100～111 では自分の成長について振り返る中で、今まで関わってくれた人に対して意識が向くように工夫されている。また、単元の終わりには発表会に招待することで自分自身の成長について考え、表現することができる。④
	3 外的要素	○ 表紙は上下とも子どもの姿が写真で表現され、「わたしとせいかつ」という文字も大きく見やすい。子どもが自分自身のこととして親しみやすい。③ ○ 上 P. 59 など生物の写真が、鮮明で水のしずくと生物の興味深い場面を切り取っている。③
	4 構成・配列	○ 下 P. 98～99 のようにふりかえりの活動を意識したページが配列され、学んだことを生活に生かしたり、人とのつながりに生かしたりすることができる。②
	5 資料・その他	○ 上 P. 124～143、下 P. 112～135 にわたって「ちえとわざのたからばこ」というタイトルで観察や電話のかけ方、インタビューの仕方など学習に役立つ技能が詳しく記載されている。写真や図、コメントが適切かつ丁寧でわかりやすい。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ タブレットパソコンの活用場面などが無い。②
	2 内容の取扱い	○ 学校探検や町探検の活動の中で、生活上必要な習慣や技能を身につけづらい。②
	3 外的要素	○ 低学年の児童が扱うにあたって、紙質が使用しづらい。① ○ 低学年にしては文字が小さい②
	4 構成・配列	○ 他教科との関連を意識したページが見つけにくい。①
	5 資料・その他	○ 上 P. 55 注意する生物の写真はあるが、どのようにすればいいのか説明がない。②

音 楽		教出（教育出版株式会社）
総 評		主体的・対話的で深い学びにつながる教材を、全学年を通して系統的に構成し、音楽的感覚を育てることができるよう配慮されている。 音楽を形づくっている要素や言葉の紹介、国際色豊かな教材の配列等、豊かな表現力の育成や教科横断的な指導に配慮されている。 「学習のめあて」のキーワードが色刷りされているなど、主体的な学びにつながるような配慮がある。 美しい写真がページ全体に掲載されている箇所があるが、一部、譜面とは別ページになっている。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「音楽のもと」（音楽を形づくっている要素）や「音楽を表す言葉」の例が数多く紹介されている。④（3年 P. 9、1年～6年巻末、4年 P. 12、5年 P. 12、6年 P. 12 など） ○ 見開きにある「学習のめあて」のキーワードになる言葉が色刷りになっている。③（3年 P. 9、1年～6年巻末、4年 P. 12、5年 P. 12、6年 P. 12 など） ○ 主体的・対話的で深い学びにつながる「音楽づくり」の教材を「音のスケッチ」として全学年を通して系統的に構築されており、この活動を通して音楽的感覚を育てることができる。③（5年 P. 26 など）
	2 内容の取扱い	○ 各ページで「音楽のもと」として教科書上部に共通事項が示されていて、児童が主体的に意識的に学習に取り組むことができるように配慮されている。⑥（1年 P. 17、P. 19 など） ○ 歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の一体化が図れるように配慮されている。特に音楽づくりの活動との関連性が優れている。②（全ページ） ○ 歌唱教材の取扱いが明確である。「学び合う音楽」という項目があるため、どのように学習すればよいか分かりやすい。③（5年 P. 11、6年 P. 12、P. 23） ○ 和楽器について取り上げ共通教材や鑑賞教材と関連させている。⑤ ○ 「楽器図鑑」など、楽器の奏法や指使いの番号を分かりやすく示されている。また、学びリンクとも関連させており、動画も確認しながら取り組めるように配慮されている。児童が必要な技能を身につけられるように配慮されている。③（1年巻末、2年巻末、） ○ 震災復興を意識した内容、楽曲がある。①（6年 P. 60・61）
	3 外的要素	○ 表紙をはじめ、絵が全体的にカラフルで、児童が親しみをもって学習に取り組むことができる。③④（2年 P. 34、P. 35 など）
	4 構成・配列	○ ショートタイムラーニングという英語の歌や九九の歌を楽しく学習できるように設定しており、教科横断的に指導が可能である。①（1年 P. 60、2年 P. 60、P. 61、3年 P. 62、4年 P. 62、5年 P. 62、6年 P. 50） ○ ユニバーサルデザインフォントなどの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮している。④（各ページ）
	5 資料・その他	○ 巻末に豊富な資料や読み物教材が示されている。②（各学年）
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 歌唱において学びを深めていくための深い学びの実現や思考判断の取扱いが弱い。③④
	2 内容の取扱い	○ 表現の学年構成において、系統立てをはっきりと示していない。⑥
	3 外的要素	○ 見開きページ全面に写真があり、見やすく美しい反面、譜面とは別ページになっているため、見づらい。①（3年 P. 40～43 など）
	4 構成・配列	○ 特になし
	5 資料・その他	○ 楽典指導・オーケストラの指導のための付録資料がより有効に活用できていない。（3年 P. 9、5年 P. 30、P. 31）

音 楽		教芸（株式会社教育芸術社）
総 評		目次には教材と各領域の学習活動の関連性について、また巻末にはふりかえりのページがある等、系統的な学びに配慮されている。 児童の発達の段階に合わせ、随所に音階が示されていて、正しく音階を身につけながら表現できるように配慮されている。 新しく学ぶ楽器の奏法や指使いの番号などを、絵や写真で分かりやすく示し、児童が必要な技能を身につけられるように配慮されている。 6年生では、取扱っている楽曲の国や地域が少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 目次から、題材構成としての各教材と学習活動との関連が判別しやすい。②（各学年目次）
	2 内容の取扱い	○ 新しく学ぶ楽器が登場した際、楽器の奏法や指使いの番号を分かりやすく示されているため、児童が必要な技能を身につけられるように配慮されている。③（1年 P. 15、P. 25、P. 50、P. 57） ○ 随所に音階が示されていて、正しく音階を身につけながら表現できるように配慮されている。③（1年 P. 39 など） ○ 日本古来の伝統的な音楽が豊富に扱われている。⑤（4年 P. 56～P. 61 など） ○ 新しく学ぶ音符や記号を児童にとってわかりやすく示されている。②（3年 P. 9 など） ○ 図形譜が大きく示されていて、楽曲の構成が理解しやすくなっている。②（3年 P. 50、P. 51 など） ○ 郷土芸能や、和太鼓・エイサーについて取り上げられている。⑤ ○ 震災復興を意識した内容、楽曲がある。①（6年 P. 68 など）
	3 外的要素	○ 文字が大きく、見やすい。（全学年全ページ）
	4 構成・配列	○ 各学年随所に二次元コードが示されていて、器楽・歌唱・鑑賞指導に関連する動画を使用して授業に取り組める。①②（1年 P. 11、2年 P. 7、3年 P. 9、4年 P. 9、5年 P. 15、6年 P. 13 など）
	5 資料・その他	○ 各学年とも巻末に「ふりかえりのページ」を設け、分かりやすく、コンパクトに学習した内容がまとめられている。①（各学年巻末） ○ 巻末に音楽の歴史をつくった人という紹介があり、作曲者の資料が豊富である。②（各学年巻末）
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的に学習できる「音楽づくり」の教材において、全学年を通してより系統的で効果的に学習できるための配慮を要する。③④
	2 内容の取扱い	○ 各学年随所にミューくん・ジックくんを提示しているが、学習を深めていく関連性に乏しい。②（1年 P. 11、2年 P. 7、3年 P. 9、4年 P. 9、5年 P. 15、6年 P. 13 など）
	3 外的要素	○ 表紙の絵柄が学年ごとの変化に乏しい。①（各学年表紙）
	4 構成・配列	○ 6年生では、取扱っている楽曲の国や地域が少ない。②
	5 資料・その他	○ 特になし

図画工作		開隆堂（開隆堂出版株式会社）
総 評		共同で行う活動が多く提示されており、主体的・対話的で深い学びの実現ができるように工夫されている。 発想や構想のヒントを投げかけるキャラクターがあり、思考力・判断力・表現力を育成し、作品を作り出す喜びを味わうことができるように配慮されている。 生活の中で使うものを製作する題材が多く取り扱われている等、豊かな心や創造性の涵養をめざした内容の配慮がされている。 文字がやや小さくフォントの色が薄いため、読みづらい部分があり、指導の際には配慮を要するところがある。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的で深い学びの実現ができるように工夫されている。③（5・6 上 P. 40～P. 41、5・6 下 P. 16～P. 17、3・4 上 P. 34～P. 35、各学年の鑑賞） ○ 完成作品だけでなく、児童が考えたり選んだり伝え合ったりしている場面を多く掲載しており、思考力・判断力・表現力が育成できるよう配慮されている。④ ○ 豊かな心や創造性の涵養をめざした内容を踏まえている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 生活の中で使うものを製作する題材が多く取り上げられており、生活をよりよくしようと工夫する態度が養われるよう配慮されている。① ○ 各学年「みんなのギャラリー」では、日本各地の伝統と文化に触れており、暮らしの中の造形作品を取り上げて鑑賞できるよう工夫されている。（P. 48～P. 49）③ ○ 「龍」を題材にして形や色、表し方のちがいを視点を鑑賞するなどの活動は、表現及び鑑賞の相互の関連について工夫されている。⑥（5・6 下 P. 30～P. 33） ○ 材料や用具の安全な扱い方などについて資料として組み込まれ、事故防止に留意されている。⑦（学びの資料・安全マーク） ○ 共同で行う活動が多く提示されており、自分の見方や感じ方を深めることができるよう工夫されている。③ ○ 発想や構想のヒントを投げかけるキャラクターがあり、想像力豊かに作品を作る喜びを味わうことができる。④
	3 外的要素	○ ミシン綴じでページが開きやすく、表紙は紙面いっぱいには児童作品とともに書名が掲載されており、児童にとって親しみやすいものになっている。① ○ さし絵や写真などが鮮明で色づかいの配慮、大きさなどが児童にとって見やすく配慮されている。③ ○ 紙面の配色がカラーユニバーサルデザインの配慮がなされている。
	4 構成・配列	○ 他教科との関連が進められるページには「あわせて学ぼう」マークとともに、教科名が示されており、教科横断的な学習の手立てとなるよう配慮されている。① ○ 各題材で「学習のめあて」と「ふりかえり」が設定されており、それぞれの題材のねらいが児童に分かりやすく明示されている。②
	5 資料・その他	○ 視覚的に親しみやすく、イメージをふくらませやすい写真やイラストが掲載され、造形遊びは、視覚的に展開するよう配慮されている。① ○ QRコードは資料として生かせ、児童の学習意欲を引き出す一つの要因となっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 掲載されている作品の中には、児童が表現の意欲を持ったり参考にしたりする資料としては、充分ではないものがある。（3. 4 下 30～31・42～43・5. 6 上 42～43）④
	3 外的要素	○ 文字がやや小さくフォントの色が薄いため、読みづらい。②
	4 構成・配列	○ 立体のねんどの題材は、題材名にちがいはあるが、発達段階に応じた内容としてのちがいがあまり見られない。①
	5 資料・その他	○ 教材の補足説明やバリエーションが少ない。①

図画工作		日文（日本文教出版株式会社）
総 評		作品や学んだことを家庭や保護者と共有したり、地域に伝えたりする活動、地域の方と共同して活動する事例などを取り上げることで、自分の見方や感じ方を深めたりする機会となっている。 6年間の経験を見通して構成が組み立てられており、身近な材料を用いて、楽しく豊かに造形活動を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う内容となっている。 各題材に記載されているめあてやふりかえりの内容が合致していない題材があり、指導の際に配慮を要する。 使う材料がくわしく紹介されていなかったり、写真で使われている材料と合っていないところがあり、指導の際に配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 作品や学んだことを家庭や保護者と共有したり、地域に伝えたりする活動、地域の方と共同して活動する事例などを取り上げ、社会に開かれた教育課程の実現に向けて配慮されている。(1・2上P.40～P.41、3・4上P.56～P.57、5・6上P.54～P.55) ①
	2 内容の取扱い	○ 「すきま」という生活や社会の中にあるものから形や色などを考え、豊かに関わる内容として配慮されている。① (1・2年上P.52～P.53) ○ 身近な材料から筆をつくり、それを用いて描くという造形活動が楽しく豊かな活動を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う内容となっている。④ (5・6下P.8～P.9) ○ 題材において、共通事項を視点に対話している情景写真を多数掲載しており、作品のコメントや発表の様子、鑑賞の題材での対話の様子を紹介し、言語活動を促すよう工夫されている。(3・4下P.52～P.53、5・6下P.46～P.47) ⑤ ○ 題材ごとに「かたづけ」「気をつけよう」が表示され、事故防止に留意している。⑦ ○ 保護者や地域と協働して学ぶ題材が用意され、自分の見方や感じ方を深める機会となる。③
	3 外的要素	○ 文字の大きさ。フォント、行間が適切である② ○ コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。④
	4 構成・配列	○ 教科等の横断的な視点を含んだ構成となっている。① (3・4下P.50～P.51) ○ 6年間の経験を見通して構成が組み立てられており、各学年の題材で扱う材料・用具も配慮し、経験を積み上げていけるように構成されている②。
	5 資料・その他	○ 仕組みの作り方などは、図で示すことで分かりやすく、児童が主体的に活動できるように示されている。(3・4上P.45) ① ○ 作品や活動の様子が大きく見やすい写真でインパクトを持たせて掲載されており、児童の興味関心を引き出す工夫がされている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 活動中において対話しながらつくっている様子が伝わりにくい。③
	2 内容の取扱い	○ (5・6上P.30～P.31) ワイヤーを取り扱う題材ではつくっている過程が少なく、作り方がわかりづらい。②
	3 外的要素	○ ページ数が多いが、内容に重複するところもある。① (造形あそび)
	4 構成・配列	○ 各題材に記載されているめあてやふりかえりの内容が合致してなくてわかりづらい。②
	5 資料・その他	○ つかう材料がくわしく紹介されていなかったり、写真でつかわれている材料と合っていないところがあり、指導の際に配慮を要する。④ (3・4下40～41)

家 庭		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		各題材が、話し合いを通して学習の振り返りや、実践や調理、製作等の改善について考える学習活動となっていて、主体的・対話的で深い学びに適している。 教科横断的な視点からの見通しとともに、2年間の学習内容を見通すことができるように編集されている。 日常生活に必要な基礎的な知識・技能だけでなく、児童が持つ疑問に対する情報が充実している。 資料は正確なものが求められるが、写真で鮮明でないものや、本来の色に近くないものがある。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 各題材の「深めよう」は、話し合いを通して学習の振り返りや、実践や調理、製作等の改善について考える学習活動となっていて、主体的・対話的で深い学びに適している。(P.60) ③
	2 内容の取扱い	○ 児童が持つ疑問に対する情報が充実している。特に、P.43 のご飯の炊き方のポイントは、おいしく炊き上げるための工夫が書かれていて、具体的な手立てが示されている。① ○ 「物を生かして住みやすく」は、日常生活の中から問題を見いだしていて、生活体験と関連付けた問題解決的な学習である。(P.50～P.57) ③⑥ ○ P.54～P.55 は、そうじについての基礎的な理解を図る内容になっており、それに係る技能を身に付けられるよう配慮された内容である。② ○ めあてが毎回明確に示されており、児童の学習意欲を高めることができる。② ○ 右利き、左利きそれぞれの持ち方や使い方が載っていて良い。(P.131～P.137) ②
	3 外的要素	○ 製本が丈夫で、装丁が児童に親しみやすい。① ○ 色づかいが豊富で、児童に親しみやすい。③ ○ カラーバリアフリーなど、ユニバーサルデザインに配慮されている。④ ○ UD フォントを使用していることは、暮らしの工夫や生活をよりよくすることを考える学習に合っている。④
	4 構成・配列	○ 教科横断的な視点から、学習を見通すことができるように編集されている。(P.1) ① ○ 2年間の学習内容を見通すことができるように編集されている。(P.1～P.2) ② ○ 学習が3つのステップに分かれていて、見通しが立てられるような構成になっている。②
	5 資料・その他	○ 写真が大きく、P.134、P.135 の写真の手元が見やすい。① ○ D マークを使って、インターネットを使った学習ができる。(計13か所) ② ○ 日本の伝統的なことにも関心を持てるように構成されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 5年生に季節に合わせた着方や住まい方についての題材がないことが課題である。①③
	3 外的要素	○ 全体を通して字が小さく、1ページの見易さの面で配慮を要する。②
	4 構成・配列	○ 5年生の最後にミシンを扱う題材が設定されているが、学校行事等が多いこの時期に実習を伴う題材の時数確保は難しい。①
	5 資料・その他	○ 写真が鮮明でないものがあり、本来の色に近くないものもある。(P.49) ②

家 庭		開隆堂（開隆堂出版株式会社）
総 評		家庭生活における知識や技能の定着にとどまらず、日常の生活から防災意識を高め、災害発生時に活用できる知識・技能を習得できるようになっている。 子どもたちが主体的・対話的で深い学びを実現するために、すぐに正解を示さないなど構成が工夫されている。 子どもたちが予想するであろう疑問に対する具体的な情報が充分ではない。 子どもたちが活動している実際の写真よりもイラストでの説明が多く、児童に伝わりにくい。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 家庭生活におけるスキルの定着にとどまらず、災害発生時に活用できる知識・技能を習得できるようになっている。①
	2 内容の取扱い	○ 「衣装制作に関わる人」や「障がい者スポーツに関わる人」など、学習した内容のプロフェッショナルの人のインタビューが載っている。そのため、子ども達が興味を持って主体的に取り組めるように工夫されている。③⑤ ○ 子どもたちが主体的に学ぶようにするため、すぐに正解を示さないなど構成が工夫されている。③ ○ P.135、P.136の言葉のページ、P.137の家庭科学習でよく使われる用語が充実しており、わからない言葉が出てきても、すぐに調べることができるよう工夫されている。③⑥
	3 外的要素	○ 製本が丈夫で、本のサイズもB5の大きさのため、小さく持ち運びに優れている。① ○ 本の重さは310gと、軽量でよい。① ○ 「家族・家庭生活」「食生活」「衣生活」「住生活」「消費生活・環境」というインデックスがついているため、どの分野の学習をしているのか、一目で分かるようになっている。④
	4 構成・配列	○ 5年生の学習においては、スモールステップで学習が行えるよう構成されているため、家庭科の基礎・基本が養えるようになっている。①② ○ 6年生の学習においては、5年生で培った知識を生かし、応用して学習に取り組めるようになっている。①②
	5 資料・その他	○ ページの右上の角に、QRコードがついている。(29か所)読み取ると動画や画像が見られるので、視覚的に支援をすることができる。③
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 予想される疑問に対する具体的な情報が充分ではない。②
	3 外的要素	○ 写真よりもイラストでの説明が多く、児童に伝わりにくい。④
	4 構成・配列	○ 目次ページにある他教科との関連が、教科名のみで具体的な单元名がなく分かりにくい。①
	5 資料・その他	○ イラストが新しさに欠け、子どもの関心を惹きにくい。②

保 健		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		児童が考えて教科書に書き込むことのできる部分が多く、スモールステップで主体的・対話的な学びを行うことができるよう工夫されている。 「調べる・解決する」の項目で、挿絵が多く取り入れられていることで、児童がその場面を想像しやすくなり、その場面と自分の体験を関連付けやすくなるよう工夫がされている。 「教科書の使い方」が示されており、見通しを持って児童が学習できるよう工夫されている。 児童が自身で行う生活リズムチェックは、指導の際に工夫が必要である
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童が考えて教科書に書き込むことのできる部分が多く、スモールステップで主体的・対話的な学びを行うことができるよう工夫されている。③
	2 内容の取扱い	○ もくじの後の最初のページに、教科書に使われている実際のページを使って、「教科書の使い方」を示されているので、見通しを持って児童が学習できるよう工夫されている。① ○ 「調べる・解決する」の項目で、挿絵が多く取り入れられていることで、児童がその場面を想像しやすくなり、その場面と自分の体験を関連付けやすくなるよう工夫がされている。③
	3 外的要素	○ 暖色を多く使うことで、児童が安心して使用することができる。総ページ数が、81 ページ。他社の教科書と比べ、20 ページほど多く情報が豊富である。③ ○ 大切な言葉が太字になっていて、児童がポイントを抑えられるよう工夫がされている。②
	4 構成・配列	○ その単元が、他教科のどの単元と関連するものなのかが書かれてあり、教科横断的な指導が行えるよう工夫されている。① ○ 1 時間ごとに、学習する内容が分かりやすく配列されている。また、学習の最後には「資料」が掲載されており、生活の中で生かすことのできるアドバイスの要素もあり、学習したことを今後の生活に生かそうとする態度を養えることができる。②
	5 資料・その他	○ 写真が多く使われていて、児童が興味をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。② ○ 写真や挿絵の大きさも概ね適当で、文章とのバランスもよい。① ○ 「思春期の体の変化」における資料が、1 年生と 6 年生児童、それに大人を比べているので、変化が分かりやすい。① ○ インターネット活用した動画等の資料は、教科書だけでは分かりづらいものを補うのに有効である。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 理由を書く箇所が多く、考えることが苦手な児童は戸惑いを覚えるので、配慮の必要がある。④
	2 内容の取扱い	○ 児童が内容を消化できない構成になっている。② ○ 児童が自身で行う生活リズムチェックは、指導の際に工夫が必要である。③
	3 外的要素	○ ページ数が多いため教科書の厚さがあり、余白が少ない。④ ○ 表紙には、写真に写された児童とアニメで描かれた児童が混在しており、違和感を覚える。①
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 体の成長を表す男子の写真は、上半身が裸であり配慮が感じられない。①

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第2地区）

保 健		大日本（大日本図書株式会社）
総 評		「やってみよう」や「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」といった項目が用意されていて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がされている。 「活用して深めよう」の項目に関して、自分がそのように思った理由等を書かせるようにしており、学習内容を深められるよう工夫されている。 全体的に資料の写真や挿絵も小さい。 発展的な学習について、取り上げている箇所が少ない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「やってみよう」や「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」といった項目が用意されていて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫が施されている。③
	2 内容の取扱い	○ 自己の体験を振り返る活動を行う際、自分の言葉ではなく、項目をチェックするようになっている。考えること・書くことが苦手な児童であっても、自己を振り返り、課題を見つけることができるよう工夫がされている。③
	3 外的要素	○ 教科書の縦の長さが短くコンパクトである。①
	4 構成・配列	○ 「活用して深めよう」の項目に関して、自分がそのように思った理由等を書かせるようにしており、学習内容を深められるよう工夫されている。②
	5 資料・その他	○ ポイントを絞った適切な挿絵の量になっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 話し合わせる項目が多いものの、児童に考えさせる項目は少ない。③
	2 内容の取扱い	○ 教科書の登場キャラクターに、ゴリラが服を着た「ゴリ先生」がいるが、その他の小学生や保健室の先生、校医、スクールカウンセラーなどは人間のキャラクターであり、違和感がある。② ○ 発展的な学習について取り上げている箇所が他者に比べて少ない。
	3 外的要素	○ 表紙のイラストに様々な活動場面での数多くの児童が描かれているが、イラストのならびが雑然としており、児童が学習に対する意欲を高められるか疑問である。① ○ タイトルが「たのしい保健」であるが、保健が「たのしい」と言い切っているのか疑問である。③
	4 構成・配列	○ 「活用して深めよう」の項目に関して、児童が自分の意見を書いて深めるには、書くスペースが少ない。②
	5 資料・その他	○ 教科書の縦のサイズが小さい分、全体的に資料の写真や挿絵も小さい。① ○ 「大人の体になる準備」の单元において、児童が理解しやすい資料がやや少ない。①

保 健		文教社（株式会社文教社）
総 評		「やってみよう」や「話し合ってみよう」、「調べてみよう」など児童が意欲的に学習に取り組める工夫がされている。 資料は、児童の生活に即したものが多く、適切であり、また、そのことで、興味をもたせ学習意欲を高めることもできる。 单元ごとに学習のスモールステップの項目が異なり、継続した学習スタイルが難しい。 小さい文字が多く、挿絵も細かくやや煩雑である。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「やってみよう」や「話し合ってみよう」、「調べてみよう」など児童が意欲的に学習に取り組める工夫がされている。③
	2 内容の取扱い	○ 身近な生活における危険が、適切かつ、分かりやすい挿絵で描かれていて、児童が課題を掴みやすくしている。② ○ 「考えてみよう」の場面において、自分の言葉ではなく、項目をチェックするようになっている。考えること・書くことが苦手な児童であっても、生活の問題点や課題を見つけることができるよう工夫がされている。①
	3 外的要素	○ 挿絵や写真の色使いが鮮やかで、児童が親しみやすいものとなっている。①③
	4 構成・配列	○ 「あなたなら、どうする？」の項目があり、身近な生活に潜む危険や改善点について考えることができるように工夫がされている。②
	5 資料・その他	○ 資料は、児童の生活に即したものが多く、適切であると思われる。また、そのことで、興味をもたせ、学習意欲を高めることもできる。② ○ 新しい資料が多い。 各ページの下部に豆知識や短文でのコメント（つぶやきくん）が設けられ、学習内容を児童の生活に生かす工夫がなされている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 情報量が多く、児童がそれらを消化できない可能性がある。① ○ 3年の「1日の生活のリズム」の「考えてみよう」の学習活動が、他者のものと比較すると分かりにくい。①
	3 外的要素	○ 小さい文字が多く、挿絵も特に細かくやや煩雑である。②③ ○ 3・4年用の表紙に写っている児童が、中学年ではなく高学年のように思われ適当でない。また、3・4年、5・6年用の両方の表紙で児童が大玉（運動会で使用するような）と写っているが、大玉を採用した意図がわからない。①
	4 構成・配列	○ 学習した内容を振り返ったり、定着させたりする項目が少ない。② ○ 单元ごとに学習のスモールステップの項目が異なり、継続した学習スタイルが難しい。①
	5 資料・その他	○ 3年「健康によい部屋」において、学習を進めていくうえでの適切な資料がない。 ○ 「思春期の体の変化」における資料が、3～4年生児童と大人を比べているだけで、変化が分かりにくく、一部、指導で扱いにくい資料もある。①

保 健		光文（株式会社光文書院）
総 評		「はじめに」→「調べよう」or「考えよう」→「話し合おう」の展開で構成されている。話し合いに向かうまでの「考えること・調べること」の分量も適切で、主体的かつ意欲的に学習に取り組むことができる。 自己の課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝え合うことができるように工夫されている。 全体的に写真がやや少なく、資料の一部の文字が小さいところもある。 児童が興味をもつことができるようなイラストであるが、指導の際に配慮を要するものがある。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 話し合うことのポイントが明確に示されている。また、話し合いに向かうまでの考えること・調べることの分量も適切で、主体的かつ意欲的に学習に取り組むことができる。③
	2 内容の取扱い	○ 「はじめに」→「調べよう」or「考えよう」→「話し合おう」の展開で構成されている。自己の課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝え合うことができるように工夫されている。③
	3 外的要素	○ 挿絵や図の色使いにメリハリがあり、ポイントや流れが分かりやすい。③ ○ 文章は明朝体、大切な言葉は丸ゴシック体かつ太字になっていて、児童がポイントを抑えられるよう工夫がされている。②
	4 構成・配列	○ 教科書の一番はじめのページに、トップアスリートが保健を学ぶことの意義や大切さに繋がるコメントがあり、学習意欲が持てるよう、工夫されている。 ○ その単元が、他教科のどの単元と関連するものなのかが書かれてあり、教科横断的な指導が行えるよう工夫されている。①
	5 資料・その他	○ アスリートのインタビューや、めあてをもたせるための4コマ漫画があり、児童が興味をもち、学習意欲を高めるための工夫が施されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 特になし。
	3 外的要素	○ 全体的に写真がやや少なく、資料の一部の文字が小さいところもある。③
	4 構成・配列	○ 科学のとびらの背景がブルーの網掛けがされており、見にくくなっている。②
	5 資料・その他	○ 「思春期の体の変化」における資料が、1年生児童と大人を比べているだけで、変化が分かりにくい。① ○ 児童が興味をもつことができるようなイラストであるが、指導の際に配慮を要するものがある。①

保 健		学研（株式会社学研教育みらい）
総 評		「健康ってどんなこと？」を考えることから学習が始まり、一人一人「こころ」と「からだ」に違いがあることを押さえ、助け合い支え合いみんなが健康に生きていくための社会を作っていこうという見通しをもたせることができる。 様々なスポーツについての紹介があり、「豊かなスポーツライフを実現させよう」という内容もある。 問題場面やめあてについて考えさせたり、話し合わせたりする時間を多くする工夫が施されている。 写真や挿絵が適切で、本文の文字は読みやすい大きさになっているものの、図や挿絵の説明などの文字は少し小さく、統一感がない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 挿絵を多く、書くスペースを少なくすることで、問題場面やめあてについて考えさせたり、話し合わせたりする時間を多くする工夫が施されている。③ ○ 「ふり返る・深める・つなげる」や「もっと知りたい・調べたい」の項目があり、児童の学びを深めるための工夫が施されている。④
	2 内容の取扱い	○ 「健康ってどんなこと？」を考えることから学習が始まり、一人一人「こころ」と「からだ」に違いがあることを押さえ、助け合い支え合いみんなが健康に生きていくための社会を作っていこうという見通しをもたせることができる。また、様々なスポーツについての紹介もあり、「豊かなスポーツライフを実現させよう」という内容がある。①⑥
	3 外的要素	○ 文章は明朝体、大切な言葉はゴシック体かつ太字になっていて、児童がポイントを抑えられるよう工夫がされている。② ○ 挿絵が多く、色使いは落ち着いたものになっている。③
	4 構成・配列	○ 1時間ごとの学習で、学習の目標「ここで学ぶこと」が示されており、児童が見通しを持って学習できる。② ○ 振り返りの項目が充実していて、学習内容を生活に活かすことができるように工夫されている。②
	5 資料・その他	○ めあてが明確に記載されていて、それに適した資料や挿し絵が豊富に用意されている。① ○ QRコードで読み取れる資料は、検索しやすく使いやすい。② ○ かがくの目では、実験で得た情報が分かりやすく掲載されており、理解しやすい。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 話し合いや他者と考えを交流する場面が少ない。⑤
	3 外的要素	○ 単元ごとで挿絵のタッチがかわり、統一感がない。③
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 児童が興味をもつような資料が少ない。また、「大人の体になる準備」の単元において、児童が理解しやすい資料が掲載されていない。②

英 語		東書（東京書籍株式会社）
総 評		「聞くこと」と、「話すこと」が上手く組み合わせられており、児童が目的を持ちながら、楽しく活動できるように配慮されている。 「音に出あう→会話に慣れる→コミュニケーションを楽しむ→世界を広げる」とステップが明確であり、児童が見通しをもちやすい構成となっている。 ユニットごとの学習内容の展開が明確であり、使用する音声や文字が、QR コードですぐに確認できるようになっている。 人権教育や国際理解教育につながるトピックスが取り上げられているが、十分に触れられているとまでは言えない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 十分なインプットと、アウトプットが上手く組み合わせられており、児童が目的を持ちながら、楽しく活動できるように配慮されている。③
	2 内容の取扱い	○ ユニットごとに、「音に出あう→会話に慣れる→コミュニケーションを楽しむ→世界を広げる」とステップが明確であり、児童が見通しをもちやすい構成となっている。① ○ ユニットごとに使用する音声や文字が、QR コードですぐに確認できるようになっており、QR コードが読み取れる機器があると、音声聞き取り、自分で確認しながら学習を進められる。⑥ ○ 単元で使用するフレーズとアクティビティのフレーズとが、共通しており、明確にされていることで、指導しやすい。⑦
	3 外的要素	○ A4版で大きく、カラフルである。③ ○ ページ数も少なく、とても軽い。①
	4 構成・配列	○ ユニットごとの学習の展開が明確である。② ○ 文字に統一感があり、見やすい。② ○ 書く活動がその他の活動と分けられており、児童が取り組みやすい。②
	5 資料・その他	○ Picture Dictionary が別冊となっており、5～6年で学習する内容がすぐわかり、振り返りや内容の確認をしやすくなっている。② ○ カードは、ミシン目があり、扱いやすい。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ Over the horizon で、人権教育や国際理解教育につながるトピックスが取り上げられているが、十分に触れられているとまでは言えない。④
	3 外的要素	○ 登場人物が教材全体を通して出てくるわけではないため、印象に残りにくい。③
	4 構成・配列	○ 話すこと（やり取り）の割合が他の技能と比べ多くなっている。②
	5 資料・その他	○ ページ数が少ないため、1つのページに情報が多くなっている。②

英 語		開隆堂（開隆堂出版株式会社）
総 評		アクティビティなどの数が多く、主体的に、知識・技能を確実に身に付けられるよう、自分の考えを友達と共有し話し合う活動が多彩に盛り込まれている。 親しみのもてる顔マークを活用した「CAN-DO リスト」での形で、学習到達目標の評価が単元や全体を通して設けられており、学習の定着を確認しながら、学習を進めていくことができる。 絵や文字の大きさなどが統一されておらず、見にくい部分がある。 日本文化を多く取り上げており、異文化を学ぶ指導の際には工夫が必要である。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ アクティビティなどの数が多く、主体的に、知識・技能を確実に身に付けられるよう、自分の考えを友達と共有し話し合う活動が多彩に盛り込まれている。④
	2 内容の取扱い	○ 「CAN-DO リスト」の形で学習到達目標の評価が、単元や全体を通して設けられており、学習の定着を確認しながら、学習を進めていくことができる。③ ○ 他教科に関連のある単元やアクティビティが多く取り入れられている。⑦ ○ ゲームの要素を多く取り入れたアクティビティが設定されており、楽しみながら言語活動を進めることができる。⑦ ○ 文字を書くことに特化した単元が設定されており、時間をうまく使いながら取り組める。⑥
	3 外的要素	○ 色の認識が苦手な児童に配慮された作りになっている。③
	4 構成・配列	○ 登場人物が、5～6年を通して登場しており、親しみやすい。② ○ CAN-DO リストが顔のマークになっており、親しみが持てる。② ○ チャンツや歌が多く盛り込まれており、楽しみながら学習ができる。② ○ 振り返りの機会が多い。②
	5 資料・その他	○ カードは厚紙で名前を書くことができる。① ○ 巻末に単語リストは、地所と同じくABC順に構成されており、慣れてくると辞書を使った学習も進めやすくなる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ QRコードによる音声データが少なく、自主的な学習に取り組みにくい。⑥
	3 外的要素	○ 文字のフォントが統一されておらず、見づらい。② ○ 絵や文字に大きさや配置に統一感がなく見づらい。③
	4 構成・配列	○ アクティビティが多いものの、イラストなどの視覚支援が少ない。①
	5 資料・その他	○ 日本文化を多く取り上げており、海外の文化があまり取り入れられていない。②

英 語		学図（学校図書株式会社）
総 評		「聞く」「話す」「読む」「書く」という流れになっており、音に慣れながら英語を学んでいくため、児童にとってはわかりやすく、十分なインプットがあるため、安心して取り組むことができる。 レッスンごとにソングが設定されており、活動の幅が広がり、楽しく学習に取り組むことができる。登場人物にストーリー性があり、年間を通して、関心をもって扱うことができる。 文法的な扱いがあるなど、指導する内容が多くなっている。 日本語での解説や説明が多く、英語よりも日本語を意識してしまう。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「聞く」「話す」「読む」「書く」という流れになっており、音に慣れながら英語を学んでいくため、児童にとってはわかりやすく、十分なインプットがあるため、安心して取り組むことができる。③
	2 内容の取扱い	○ レッスンごとにソングが設定されており、活動の幅が広がり、楽しく学習に取り組めそうである。⑥ ○ 登場人物にストーリー性があり、年間を通して、関心をもって扱うことができる。⑤
	3 外的要素	○ A4版で大きい。① ○ ページ数が多いため、いろいろなことが載せられている。③
	4 構成・配列	○ レッスンごとに、シャギーという名の犬の視点から学習したフレーズを使ったストーリーが、5～6年を通じて設定されており、児童の関心を持続させていくことができそうである。② ○ クラスルームイングリッシュが提示されており、英語での指導を意識している。②
	5 資料・その他	○ 学習の進め方が各レッスンに提示されており、単元ごとの「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標の評価も設定されており、学びの見通しと振り返りに取り組むことができる。① ○ いろいろな歌に親しめるようになっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ペア学習が多く、グループでのアクティビティやクラスに向けてのスピーチに取り組む活動が少なく、活動に幅がもてない。③
	2 内容の取扱い	○ QRコードによる音声データが少ない。⑥ ○ 歌の内容が、高学年より幼児向けのものが多く、扱いづらい。⑥
	3 外的要素	○ 日本語での解説や説明が多く、英語よりも日本語を意識してしまう。ページによっては、情報が多く必要な情報を見つけるのが難しい。② ○ ページ数が多いため重くなっている。①
	4 構成・配列	○ 特になし
	5 資料・その他	○ 巻末の絵カードが、小さく、教科書と同じ紙を使用しており、扱いにくく、切り取りのミシン目も入っていないため、使いにくい。① ○ 文法的な扱いがあるなど、指導する内容が多くなっている。② ○ CAN-DO リストの一覧が無いと、全体の流れが掴みにくい。①

英 語		三省堂（株式会社三省堂）
総 評		テーマ設定を5年生では「自分の周囲のこと」、「日本のこと」に、6年生では「将来のこと」、「世界のこと」とし、発達段階に応じて視野を広めたものとなっている。 知識技能を確実に定着させるように工夫されており、各単元で、プレゼンテーションの場を設定している。 文字の統一性がなく、フォントの使い分けが多いため、文字を認識しにくい。 QRコードによる音声材料が配置されているが、未整備で全体が見通せない。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 5年生では「自分のこと」「日本のこと」を学び、6年では「将来の夢」「世界のこと」について学び、児童の発達段階を意識した構成になっている。④
	2 内容の取扱い	○ クラスルームイングリッシュが提示されており、英語での指導を意識している。① ○ 登場人物は、年間を通じて登場しており、児童の関心を引くことができる。⑤ ○ 物語の数が多い。⑤
	3 外的要素	○ 優しい色彩の絵を使用しており、写真を多用せず見やすい。② ○ キャラクターが日本のタッチと異なっており、新鮮である。③
	4 構成・配列	○ 各単元で、プレゼンテーションの場を設定している。②
	5 資料・その他	○ picture dictionary が巻末についており、QRコードで音声を得られ、振り返りや自主学習に活用できる。① ○ 絵カードは、厚紙で扱いやすく、名前の部分には4線が入っており、文字の形を意識して書ける。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 文字の統一性がなく、フォントの使い分けも多く、文字を認識しにくい。⑥ ○ 登場人物の顔が同じような顔となっており、個性がない。⑤
	3 外的要素	○ 表紙のイラストと中のイラストが一致していない。③ ○ 5年生用のアルファベットカードにミシン目が入っておらず、扱いにくい。④ ○ QRコードによる音声材料が配置されているが、未整備で全体が見通せない。
	4 構成・配列	○ 大単元と、Hop Step Jump の関連性がわかりにくい。① ○ 日本語の表現が多く、英語に集中できにくい。(Jump) ② ○ 発表のアクティビティが十分とは言えない。① ○ コミュニケーションのフレーズが明確ではなく、扱いづらい。②
	5 資料・その他	○ 日本語での説明が多く、英語としての内容を意識しにくい。① ○ QRコードによる音声は単元の中では読み取りにくく、必要な時にすぐ使えるかどうかわからない。① ○ 文字が小さく、読みにくい部分がある。②

英 語		教出（教育出版株式会社）
総 評		「話す」活動が設定されていることで児童が自然に話したくなるよう工夫がされており、また、視覚支援により活動のイメージが持て、主体的に取り組むことができる。 日本語表現が最低限度に抑えられており、色彩も鮮明で英語を学習している意識をもたせやすい。 チャンツや歌、ジングルにも、リズムやメロディーが工夫されており、楽しみながら取り組める。 レッスンごとに音声データが配置されておらず、全体からレッスンごとのものを検索する必要があるため、時間がかかる。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「話す」活動の設定が自然であり、児童が話したくなる工夫がされている。また視覚支援により活動のイメージが持て、主体的に取り組むことができる。③
	2 内容の取扱い	○ チャンツや歌、ジングルにも、リズムやメロディーが工夫されており、楽しみながら取り組める。⑥ ○ 日本語表記が少なく、英語に集中した学習の展開ができそうである。③ ○ 時事に即したものが多く、興味関心を持続させながら学習に臨めるようになっている。⑤
	3 外的要素	○ 見開き全体を使用し、イラストや文字も大きく配置されている。色使いや配置が海外の絵本を意識したものになっており、英語を学習している意識をもたせやすい。③ ○ イラストで教室での活動がわかるようになっており、見通しが立てやすい。④
	4 構成・配列	○ 单元ごとに「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標の評価が設定されている。② ○ アクティビティのフレーズも明確になっており、バランスよく配置されている。① ○ 1ページの情報量が適度であり、とても見やすい。②
	5 資料・その他	○ 絵カードはミシン目が入っており、4線で名前も書けるようになっており、扱いやすそうである。① ○ ワークシートが充実しており、教科書だけを使って学習できる。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 登場人物にストーリー性がなく、関心を持ちにくい。⑤ ○ ストーリー等、読むことが少し少なく、絵本等での補充が必要である。③
	3 外的要素	○ 色調の関係から、絵・写真の見せ方に工夫を要する。③
	4 構成・配列	○ レッスンごとに音声データが配置されておらず、全体からレッスンごとのものを検索せねばならず、時間がかかる。②
	5 資料・その他	○ 昨今の時事的なものが多く、4年間使うには難しいのではないか。② ○ トピック的に国際理解等に触れることはできるが、深めるまでには相当な工夫が必要となる。②

英 語		光村（光村図書出版株式会社）
総 評		アクティビティなどに工夫がみられ、また、活動の中で英語を話したくなる設定が盛り込まれており、児童が楽しく主体的に取り組める。 アクティビティの中での反応を明確にしており、コミュニケーションを意識させることができる。 必要以上に日本語での説明が多い部分があり、日本語に意識が向いてしまう。 文字が多いため、必要な情報を見つけ出すのに工夫が必要である。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童が楽しく取り組めるように、アクティビティなどに工夫がみられる。また、活動の中で英語を話したくなる設定が多いため、児童が主体的に取り組める。③
	2 内容の取扱い	○ 単元の最初にゴールが示され、見通しをもって学習に臨むことができる。③ ○ QR コードによる音声材料が使いやすくなっており、十分なインプットが期待できる。⑥ ○ アクティビティに歌やチャンツが多く用意されており、活動に幅をもたせることができる。⑦ ○ アクティビティの中でのレスポンス（リアクション）を明確にしており、コミュニケーションを意識させることができる。⑦
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインを意識した装丁であるので、色使いや文字に統一感があり、シンプルで見やすい。③
	4 構成・配列	○ 文字に統一性があり、見やすい。① ○ 見開きで、授業の流れを見通した学習ができる。② ○ 紹介されている国の数が多く、世界を意識した作りになっている。① ○ アクティビティについては、QR コードからの読み取りの中に、進め方を説明している。①
	5 資料・その他	○ 絵辞典が巻末についており、単元とリンクして使える。② ○ 教科書で扱っている人物の知名度が高く、児童が興味をもちやすく、学習意欲を引き出しやすい。② ○ 英語への関心をもたせることができるように、早口言葉やストーリー等が、多く配置されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 必要以上に日本語での説明が多い部分があり、日本語に意識が向いてしまう。③ ○ 読む活動が他社と比べて少ない。⑥
	3 外的要素	○ 文字が多いため、必要な情報を見つけ出すのに工夫が必要である。② ○ 吹き出しの文字が少し小さい。②
	4 構成・配列	○ 他教科との関係性に配慮を要する。① ○ アクティビティでのフレーズが明確でなく、指導者の準備が必要。②
	5 資料・その他	○ カードは厚紙であるが、ミシン目が無いため扱いにくい。①

英 語		啓林館（株式会社新興出版社啓林館）
総 評		音声インプットから段階を追って学べるように工夫されており、児童が主体的に学べるようになっている。 子どもたちに馴染みのあるストーリーが掲載されており、関心をもって学習に臨めるだけでなく、学期末の発表では、情報を整理するなど思考力、判断力、表現力が必要とされる取り組みも用意されている。 教科書へ書き込むスペースが小さく、書き込みにくい部分がある。 学習活動は統一されており見通しが持てるが、同じ活動が続くので、飽きないようにする工夫する必要である。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 音声インプットから段階を追って学べるように工夫されており、児童が主体的に学べるようになっている。③また、学期末の発表では、情報を整理するなど思考力、判断力、表現力が必要とされ取り組みも用意されている。④
	2 内容の取扱い	○ 学期末には、聞く・読む・話すことを中心に、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を必要とする演習が設けられており、復習として役立てることができる。⑤ ○ コラムを設け、言語や文化についての紹介もあり、多文化理解を深めていくきっかけができる。④ ○ チャンツも多く、楽しみながら取り組める。⑥ ○ 発表する機会がとても多い。⑦
	3 外的要素	○ 文字に統一感があり、見やすい。② ○ 独特のキャラクターで、親しみやすい。③
	4 構成・配列	○ 見開きごとに学習が統一されており、学習が見通しやすい。② ○ 巻末の単語が場面ごとに整理されており、とても使いやすい。②
	5 資料・その他	○ カードは厚紙でミシン目があり、名前も書き込めて扱いやすい。① ○ QRコードでの音声はスピードを変更することができる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 学習活動は統一されており見通しが持てるが、同じ活動が続くので、飽きないようにする指導者が配慮する必要がある。③ ○ 発表する機会が多すぎて、全て実施するのが難しい。⑦ ○ 日本語表記が多く、日本語に意識が行ってしまう。⑥
	3 外的要素	○ 色彩やデザインは見やすいが、登場人物やイラストに個性がなく、高学年の興味を引く配慮が必要である。③ ○ イラストが小さいため、見せるための工夫が必要である。② ○ CAN-DO リストの内容が少し少ない。④
	4 構成・配列	○ 教科書へ書き込むスペースが小さく、書き込みにくいところがある。②
	5 資料・その他	○ 登場人物の個性が分かりにくい。③

道 徳		東 書（東京書籍株式会社）
総 評		ねらいに迫る発問が最後に設定され、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう配慮されている。 国語・社会・体育等「他教科との関連」が紹介されており、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。 判型が小さく児童にとって軽くて持ち運びしやすい。 挿絵が小さく、特に低学年では大きさに配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ねらいに迫る発問が単元の最後に設定されていて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役に立つよう配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 国語・社会・体育等「他教科との関連」が紹介されており、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。①
	3 外的要素	○ 判型が小さく児童にとって軽くて持ち運びしやすい。① ○ 指導項目が分かりやすい。②
	4 構成・配列	○ 学んだことから、これからの思いや課題について考えたりできるような発問例がある。②
	5 資料・その他	○ 「つながる・広がる」のページは、写真が多く、学習内容に適したものになっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「話し合い」の仕方の部分においては、形式が提示されているが、主体的・対話的な学習のためには配慮を要する。
	2 内容の取扱い	○ 悩みや葛藤場面の心のゆれに着目した発問例が少ない。②
	3 外的要素	○ 挿絵が小さい。特に低学年では大きさに配慮を要する。③
	4 構成・配列	○ 1年生の早い時期に、分量の多い教材が配列されており、入門期の道徳科としてはやや難しい。①
	5 資料・その他	○ 読み物資料が少なく、あまり児童が興味を示さないと思われるものがある。② ○ 別冊として使える道徳「ノート」がない。①

道 徳		学図（学校図書株式会社）
総 評		児童に身近な人物や様々な生き方を教材として取り上げることで、自己を見つめ、人としての生き方について深く考えられるように配慮されている。 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を登場人物の心情理解に加えて、児童が自分のこととして考えられるように工夫されている。 「道徳の学習を始めよう」は、学習の手順や方法が児童に分かりにくい。 各教材の冒頭に「主題名」が挙げられていないため、道徳的な価値と関連付けた学習をする際に配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童に身近な人物や様々な生き方を教材として取り上げることで、自己を見つめ、人としての生き方について深く考えられるように配慮されている。① ○ 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を登場人物の心情理解に加えて、児童が自分のこととして考えられるように工夫されている。⑥
	2 内容の取扱い	○ 文字の大きさは適切であり、それぞれの題材の内容の分量も学年の発達段階に応じて適切である。② ○ 4つの視点毎にページの色が分けられているのが分かりやすい。④
	3 外的要素	○ 「内容項目別一覧」では、「キャリア教育」「いじめ対応」「情報モラル」など関連する現代的な諸課題を対応させているため、指導者が活用しやすい。① ○ 発達段階への配慮とともに、学校行事や他教科等の学習内容、伝統的な行事の実施時期などを考慮して教材が配列されている。①
	4 構成・配列	○ 児童に身近な人物や様々な生き方を教材として取り上げることで、自己を見つめ、人としての生き方について深く考えられるように配慮されている。① ○ 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を登場人物の心情理解に加えて、児童が自分のこととして考えられるように工夫されている。⑥
	5 資料・その他	○ 「まなび」ノートでは、友達の考えを記入できるようになっており、自分以外に多様な考えがあることをつかめるような構成になっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 感動を与える教材や名作が多いが、学年によってはやや難しいものもあり、1時間で学習を終えるのに配慮と工夫が必要な教材がある。③
	2 内容の取扱い	○ 各教材の冒頭に「主題名」が挙げられていないため、児童が道徳的な価値と関連付けた思考を進めにくいと考えられる。
	3 外的要素	○ 挿絵や写真は鮮明でよいが、必要以上に大きいところがある。③ ○ 「まなび」を記入するマス目が細かい方眼になっていて使いにくい。②
	4 構成・配列	○ 低学年の「まなび」ノートは、文字が多すぎて分かりにくい。①
	5 資料・その他	○ 「道徳の学習を始めよう」は、学習の手順や方法が児童に分かりにくい。②

道 徳		教出（教育出版株式会社）
総 評		「役になりきってみよう」のコーナーが多く、児童の発達段階を踏まえ、豊かな表現力を育成できるよう配慮されている。 悩みや葛藤等、心の揺れの段階を児童が深く考えることができる発問があり、最後に内容項目に沿った発問が「特に考えてほしいこと」として取り上げられている。 資料の内容には、児童の視点から馴染みにくいと思われるものがある。 父親を扱った教材が多く、多面的・多角的な考えや人間尊重の精神の取り扱いの点で配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「役になりきってみよう」のコーナーが多く、児童の発達段階を踏まえ、豊かな表現力を育成できるよう配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 悩みや葛藤等、心の揺れの段階を児童が深く考えることができる発問があり、最後に内容項目に沿った発問が「特に考えてほしいこと」として取り上げられている。②
	3 外的要素	○ 文字は高学年でも大きく行間も空いているので読みやすく、文字に抵抗を示す児童にとっても親しみやすい。④
	4 構成・配列	○ 内容項目の全体について取り扱い、学年、学期に応じて効果的に行えるように配列されている。① ○ ふりがながあり、指導しやすい。①
	5 資料・その他	○ 資料は学習内容に応じて正確に配列されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 何をどのように対話し、深い学びに導くのが、教科書だけでは分かりにくいいため、指導する際に配慮を要する。③
	2 内容の取扱い	○ 自らを振り返るような工夫は、あまり見られない。⑤ ○ 父親を扱った教材が多く、多面的・多角的な考えや人間尊重の精神の取り扱いの点で配慮を要する。①
	3 外的要素	○ 紙が薄く、製本がやや頼りない。① ○ 挿絵が小さい。高学年でも挿絵は重要である。③ ○ 表紙のイラストが親しみにくい。③
	4 構成・配列	○ これからの思いや課題について考える発問例が少ない。②
	5 資料・その他	○ 別冊として使える道徳「ノート」がない。① ○ 資料の内容には、児童の視点から馴染みにくいと思われるものがある。②

道 徳		光村（光村図書出版株式会社）
総 評		児童が主体的に学習できるよう、呼びかけや話し合いの工夫の仕方などが分かりやすく示されている。 発問が気持ちを問うだけでなく、様々な考えを引き出せるよう工夫されている。 暗いイメージの挿絵や表情が分かりづらい挿絵があり、指導の際に配慮を要する。 判型が小さい分、文字も他の発行者と比べて小さめで、分量が多いものは、45 分間の学習指導に配慮が必要である。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童が主体的に学習できるよう、呼びかけや話し合いの工夫の仕方などが分かりやすく示されている。③
	2 内容の取扱い	○ 発問が気持ちを問うだけでなく、様々な考えを引き出せるよう工夫されている。① ○ 教材の最後に学習の手引きがあり、学習の進め方や何を考えるべきかが明確であるため、どの児童にとっても学びやすくなっている。⑥
	3 外的要素	○ B5変形版で、他の発行者と比べて小さく扱いやすい。文字列がすっきりしていて読みやすい。② ○ 挿絵や表紙の絵が親しみやすく、問題を考える際の手がかりとしても使える。③
	4 構成・配列	○ 3学期分のまとまりに分かれており、まとまりごとに重点をおいて配列されている。1学期に周囲との関係に重点をおいた教材が配列されているので、学級経営にも生かしやすい。①
	5 資料・その他	○ 役割演技のヒントがたくさん書かれていたり、関連資料の紹介があったりするため、児童の関心を高め意欲を引き出しやすい。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 特になし
	3 外的要素	○ 暗いイメージの挿絵や表情が分かりづらい挿絵がある。② ○ 判型が小さい分、文字も他の発行者と比べて小さめで、分量が多いものは、45 分間の学習指導に配慮が必要である。②
	4 構成・配列	○ 資料ごとに見開き単位になっていないため、集中できない児童もいるのではないと思う。②
	5 資料・その他	○ 「考えよう 話し合おう」の文言が多く、扱いにくい。① ○ 「学びの記録」が学習のまとまりごとの最終ページにあるが、全て自由記述のため、書きづらい児童もいることが予想される。（ページを探しにくい。）②

道 徳		日 文（日本文教出版株式会社）
総 評		「人との関わりユニット」として、全学年で複数回、いじめについて考える教材が重点として配置されており、安全な社会の実現や豊かな心の育成の実現に配慮されている。 道徳学習の教材として実践されてきた資料が多く、児童にとって深い学びができる。 現代の多様な課題に関する教材や、オリンピックやパラリンピックを取り扱った教材や、いじめ問題を重点的に取り扱った教材など適切に配置されている。 ノートと教科書を合わせた厚みや重さの点で、取り扱う際に配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「人との関わりユニット」として、全学年に複数回、いじめについて考える教材が重点として配置されており、安全な社会の実現や豊かな心の育成の実現に配慮されている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 道徳学習の教材として実践されてきた資料が多く、児童にとって深い学びができる。① ○ 現代の多様な課題について、適切に取り扱われている。オリンピックやパラリンピックを取り扱った教材や、いじめ問題を重点的に扱うための教材が豊富に配列されている。④
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインの観点から、色覚的に見やすく、挿絵の大きさも適切で、児童がよく考えるための手助けになるものが多い。④
	4 構成・配列	○ 学年の発達段階に合わせて適切に構成・配列されている。①
	5 資料・その他	○ ノートが別冊になっているので、指導者が評価しやすい。1つの発問のみで下半分は自由記述ができるので、「学期を通して分かったこと」など、児童の気づきを書かせやすい。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習の手引きには、写真や吹き出しがあるが、対話が苦手な児童など、深い考えを導く際には配慮を要する。③
	2 内容の取扱い	○ 教材末の発問の中には、児童が考えにくいものもある。①
	3 外的要素	○ ノートも合わせると厚さや重さの点で取り扱う際に配慮を要する。①
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 読み物が多いが、児童の興味をひくには不十分な資料も多い。① ○ 「命」を扱う教材が複数あるため、配慮が必要と考えられる。①

道 徳		光文（株式会社光文書院）
総 評		3年「きまりがあるわけ」4年「きまりを守る心」など、きまりを守ることにについて深く考えさせ、行動に移せるよう工夫されている。 身近な社会的課題について、自分との関係において考えられるよう、学校生活の場面だけでなく多様な教材を効果的に取り扱っている。 巻末にある「学びの足あと」は、何を書かせるとういかに分かりにくいいため、指導する際に工夫・配慮を要する。 「まとめる」「広げる」の問いかけが抽象的で書いたり話したりすることに課題がある。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 3年「きまりがあるわけ」4年「きまりを守る心」など、きまりを守ることにについて深く考えさせ、行動に移せるよう工夫されている。①
	2 内容の取扱い	○ 身近な社会的課題について、自分との関係において考えられるよう、学校生活の場面だけでなく多様な教材を効果的に取り扱っている。④ ○ 3年「きまりは何のため」「クラスのまとまり」といった身近な教材で問題解決的な学習ができるよう工夫されている。⑥ ○ 児童にとって身近に感じられる地域の特色を生かした教材が取り上げられている。③
	3 外的要素	○ 「目次」のページに、「内容項目」だけでなく「〇年生でとくに考えたいこと」などが「マークの意味」として詳しく表示されていて、指導に生かせるよう配慮がみられる。④
	4 構成・配列	○ 各学年で取り上げられている内容項目を設定し、教材を複数・連続して配列している。① ○ 負担のない程度のコラムを設けて、児童の考えを広げられるよう工夫されている。②
	5 資料・その他	○ 「道徳の学習」について、学習の方法や場面、教科書の使い方などが丁寧に説明されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 高学年では発問が抽象的になる傾向がみられ、主体的・対話的な学習の展開には配慮を要する。④
	2 内容の取扱い	○ 巻末にある「学びの足あと」は、何を書かせるとういかに分かりにくいため指導する際に工夫・配慮を要する。③
	3 外的要素	○ 判型が大きく、別冊のノートがないのにも関わらず、分厚く重い。① ○ 文字の大きさ、フォントが他の発行者と比べて読みにくい。③
	4 構成・配列	○ 道徳の「ノート」が別冊としていないため、指導の効率化が図りづらい。②
	5 資料・その他	○ 「まとめる」「広げる」の問いかけが抽象的で書いたり話したりすることに課題がある。②

道 徳		学研（株式会社学研教育みらい）
総 評		道徳的価値について資料には明確に言葉で書き表されていないため、かえって児童が主体的に考えることができる。 低学年においては大切な資料の挿絵や写真が表情豊かで、指導のねらいに即したものになっている。 問題提起が細かすぎるため、学習課題が不明確にならないよう配慮が必要である。教科書に書き込むところがあるが、低学年には難しく、扱いに配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 道徳的価値について資料には明確に言葉で書き表されていないため、かえって児童が主体的に考えることができる。③
	2 内容の取扱い	○ 低学年において大切な資料の挿絵や写真が表情豊かで、指導のねらいに即したものになっている。③ ○ 実話が多く扱われており、実在する人物を自分と比べながら、物事を多角的・多面的に考えられる内容になっている。①
	3 外的要素	○ 表紙が児童にとって親しみやすいデザインになっている。① ○ 文字の大きさが児童の発達段階に適している。②
	4 構成・配列	○ 6年間を見通して、内容項目についての学びがより深いものになるように配列されている。①
	5 資料・その他	○ 児童にとって分かりやすい文章の表現、言葉遣いになっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 問題提起が細かすぎるため、学習課題が不明確にならないよう配慮が必要である。③ ○ 教科書に書き込む際、低学年には扱いが難しく配慮を要する。③ ○ 一部にしか、ふりがながない。④
	3 外的要素	○ 判型がやや大きく、児童によっては道具箱に入らない。①
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 写真や挿絵がカラフルになった反面、視覚からの刺激に敏感な児童には配慮が必要である。① ○ 道徳の「ノート」ではなく、ワークシート集であるので印刷する必要がある。①

道 徳		廣あかつき（廣済堂あかつき株式会社）
総 評		危険なことから身を守る方法を、中学年・高学年の教科書では具体的に扱っている。 児童の日常生活を振り返り、反省したり課題を見つけたりしやすい文章構成になっている。 物語に使われている言葉がやや難しく、補足説明を要する資料が複数ある。 問題解決的な学習や、多面的・多角的に道徳的な価値を学習するためには工夫・配慮を要する。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 危険なことから身を守る方法を、中学年・高学年の教科書では具体的に扱っている。①
	2 内容の取扱い	○ 児童の日常生活を振り返り、反省したり課題を見つけたりしやすい文章構成になっている。④⑤
	3 外的要素	○ 挿絵や写真の色使いが温かい印象で、児童が親しみやすいデザインになっている。③④ ○ 写真や挿絵の色が鮮明すぎず、程よい程度である。④
	4 構成・配列	○ 学年が上がるにつれて、学んだことをさらに深く考えられるような構成になっている。学年が上がるにつれて、伝記の扱いが多くなっている。①
	5 資料・その他	○ 「学習の道すじ」に本時のめあてと発問が書かれており、児童が何について考えるとよいか明確になっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 資料中に道徳的価値が端的に書き表されているが、主体的・対話的学習には配慮を要する。③
	2 内容の取扱い	○ 問題解決的な学習ではなく、やや価値が一面的に指導する傾向がみられる点で配慮を要する。⑥
	3 外的要素	○ 他者と比較して、文字数が多く、文字の大きさも小さい。②
	4 構成・配列	○ 内容項目の重なりが多い。①
	5 資料・その他	○ 物語に使われている言葉がやや難しく、補足説明を要する資料が複数ある。① ○ 道徳の「ノート」が授業での発問に対応していない。①